



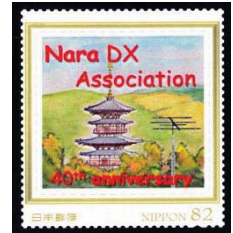
JA3AER



*** 記念カバーとP切手 (その1) ***

JA3AER 荒川泰蔵

注：P 切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。



1. SEANET コンベンションの記念カバー作りに、インドネシアの郵便局を巡る。

第 46 回 SEANET コンベンションの記念カバーを作るため、Yogyakarta に詳しい YB2TJV, Dani さんにローカルの郵便局を案内して頂きました。そこでは準備したカバーに快く押印してくれましたが、欲しい切手の在庫がなく、再び車で Yogyakarta 中央郵便局へ連れて行って頂きました。そこには郵趣カウンターがあり記念切手や FDC が売られていました。記念のカバーに消印を頼むと、窓口の係員もアマチュア無線家で YD2UKY, Galih さんであることが分かりました(写真 1 及び 2)。



写真 1. (左) YB2TJV, Dani さんの案内で郵便局へ、(中)そこで記念カバーに消印を依頼。(右) Yogyakarta の中央郵便局。



写真 2. (左) 郵趣カウンターで局員の YD2UKY, Galih さんと。(右) Yogyakarta から 11 日目に大阪へ届いた記念カバー。

帰途立ち寄った Jakarta 近郊の Cikaarang 工業団地に近い郵便局を訪れ、手紙の発送を依頼しました(写真 3)。



写真 3. (左) 作業場の前の郵便物集配車。(中) 郵便局舎の入り口。(右) 窓口の郵便局員達はカメラにポーズをとってくれた。

2. オーストラリア：第 30 回 SEANET コンベンション 2002 の記念カバー（2002 年 11 月 1 日付 Perth の消印）。

今回からSEANETコンベンションを中心とした記念のカバー等を、年代順に紹介させていただきます。最初は2002年にオーストラリアのパーズで開かれた第30回SEANETコンベンションの記念カバーで、参加者のサインを貰ったものです(写真4)。



写真4. オーストラリアのアマチュア無線75周年記念切手付き封筒に、コアラの切手を1枚貼り足して日付印を押した記念カバー。

3. 韓国：世界 YL ミーティング 2004 の記念カード（2004 年 10 月 9 日付 Seoul の消印）。

主催者がこの催事の記念 P 切手を作っていたのには、郵趣家の一人として驚きでした。早速この P 切手を記念局 DT04YL のQSLカードに貼って Seoul 中央郵便局で消印して貰い、記念カードにしました(写真5)。

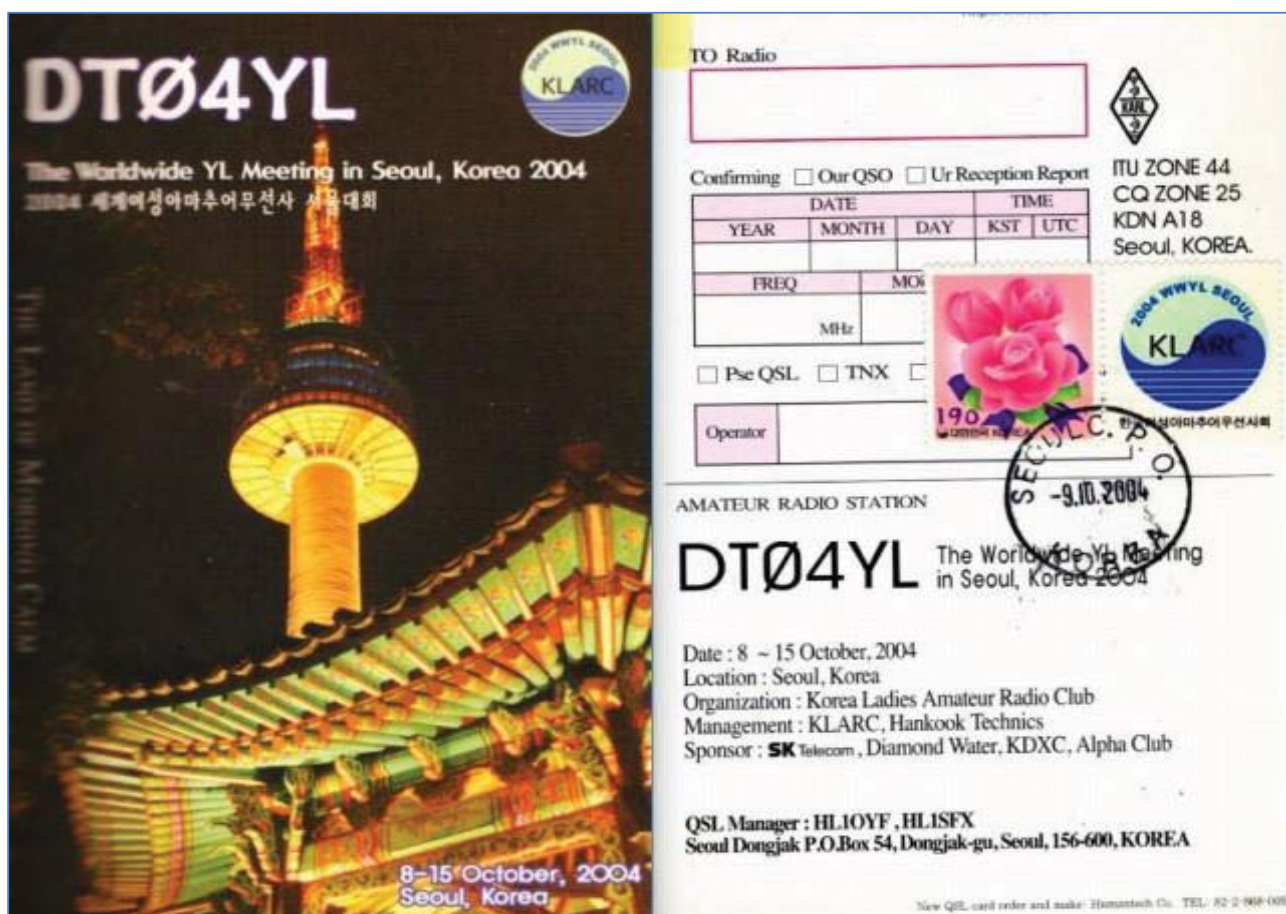


写真5. 記念局 DT04YL のQSLカードに、記念の P 切手を貼って消印した記念カード。

4. タイ : 第 32 回 SEANET コンベンション 2004 の記念カード (2004 年 11 月 20 日付 Bangkok の消印)。

第 32 回 SEANET コンベンションでは、タイのシリキット女王 72 歳の記念局 HS72B が運用されました。その QSL カードに、プーモン国王が通信中の切手を貼り、バンコク中央郵便局で消印をして貰って、記念カードにしました(写真 6)。



写真 6. 記念局 HS72B の QSL カードに、プーモン国王の切手を貼って消印した記念カード。

5. インド : 第 33 回 SEANET コンベンション 2005 の記念カバー (2005 年 10 月 7 日付 Bangalore の消印)。

投宿したホテルの封筒にタジマハールの切手を貼り、Bangalore 郵便局で消印して貰って記念カバーとしました(写真 7)。



写真 7. ホテルの封筒を利用した SEANET コンベンションの記念カバーに、参加者達のサインを貰った。

次号に続く



JA3AER



*** 記念カバーとP切手 (その2) ***

JA3AER 荒川泰蔵

注：P切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。

また、国によっては Individual 切手とも呼ばれている。



1. お陰様で退院しました。

12月初旬風邪を引いたのかと、ローカルのクリニックで治療を受けていましたが、18日に高熱が出て肺炎と仮診断され、大学病院への紹介状を持ってタクシーで直行しました。大学病院では矢継ぎ早に、レントゲン、CT、血液検査、エコー検査などが行われ、肝臓に異常ありと診断、即入院して抗生剤の点滴が行われました。このため12月の歓迎会兼忘年会と1月のCW講習会には参加出来ず、また会報NDXA Reportにも投稿できず、皆様方にご心配とご迷惑をお掛け致しました。皆様方からのお見舞いや激励のお蔭で1月16日には退院することが出来まして、現在処方された内服で自宅療養を続け、外来による検診で完治を目指しています。

2. 日本：第34回SEANETコンベンション2006の記念切手と記念カバー(2006年9月14日付 大阪の消印)。

さて、話を主題に戻し、先ず日本で初めてのSEANETコンベンションの記念カバーです。このコンベンションは、大阪国際交流センター・ラジオクラブ主催で、大阪国際交流センターで開催され、8J3SEAの特別局も運用されました。(写真1及び2)。



写真1. (左) SEANET2006のオリジナル切手(80円)を貼って、コンベンション初日(9月14日)の大阪中央郵便局の消印を押した記念カバー。(注：この時はフレーム切手ではなく、図案と切手面が別々になっていて、オリジナル切手と呼ばれていた)

(右) SEANET2006のオリジナル切手(50円)を貼って、9月16日にコンベンション会場(大阪国際交流センター)に開設された、天王寺郵便局の臨時出張所で、天王寺郵便局の消印を押した記念カバー。



写真2. (左) この年2006年の9月から、フレーム切手が発行されることになり9月1日から受付が始まった。早速注文するも、残念ながらコンベンションの間に合わず、9月26日にやっと手元に届いた。その日にローカルの狭山半田郵便局の消印を押した初日記念カバー。

(右) SEANET2006のフレーム切手(80円)を貼って、コンベンション終了後の9月27日の大阪中央郵便局の消印を押した記念カバー。

3. 韓国：第 37 回 SEANET コンベンション 2009 の記念カバー(2009 年 10 月 26 日付 ソウルの消印)。

日本でのSEANETコンベンションに勇気づけられてか、韓国も開催したいと手を挙げました。ホストの中心は前号で紹介した「世界YLミーティング2004」の主催者KLARC(女性のクラブ)だったので、今回も記念の切手を作っているだろうと期待していました。しかし、なぜか最終日までそれを伏せていたので、記念のカバー作りには間に合わず、韓国の普通切手でも貼って消印を押して貰おうとソウル中央郵便局に出かけてみました。するとそこには立派な郵趣コーナーがあり、パーソナル切手の販売まで行っていました。そこで今回のコンベンションのロゴを入れた切手を注文すると、原則ここで撮影する本人の顔写真だけだとのこと、仕方なく先ずそれを注文し、撮影してくれた際に、ついでに胸にあるロゴだけを写してそれも切手にと頼むと、渋々応じてくれて2種類のパーソナル切手を作って貰いました。30分程待つとそれが出来上がり、その切手を使った記念カバーが作れました(写真3)。



写真3. (左)コンベンションのロゴ入りパーソナル切手を貼って、ソウル中央郵便局の消印を押した記念カバー。

(右)ソウル中央郵便局の郵趣コーナーで作って貰った2種類のパーソナル切手。

4. 中国：第 38 回 SEANET コンベンション 2010 の記念カバー (2010 年 11 月 9 日付 上海の消印)。

韓国に続いて翌年に、中国でも初めての SEANET コンベンションが上海で開催されました。主催者には事前に記念カバーの制作を提案していたのですが、当日参加者にスーベニアとして配られたのは、同年開かれた上海万国博覧会 記念の初日カバーに、「38th SEANET Convention 2010・SHANGHAI CHINA」の文字と SEANET のロゴが入ったゴム印が押されたカバーでした。これだけでは日付の公的な証明がないと思い、ローカルの郵便局で普通切手を買って貼付け、それに消印を押印して貰いました。日本では、はがきの料金以上の切手を貼らないと押印して貰えませんが、上海の郵便局で尋ねると額面に関係なく押印するからと、最低額面の切手を出してくれました。(写真 4)。



写真 4. コンベンション 2010 のゴム印を押した、上海万博記念の初日カバーに、中国の切手を貼って押印して貰った記念のカバー。

5. 日本：JAIG ミーティング 2010 の記念カバー（2010 年 3 月 25 日付 大阪中央局の消印）。

2010 年度の JAIG ミーティング(日独友好アマチュア無線クラブの年次大会)が大阪で開かれ、それを記念したフレーム切手が 2 種(50 円及び 80 円)制作されました。また、それを貼って大阪中央郵便局の風景印を押印した記念カバーも制作され、参加者に頒布されました(写真 5)。



写真 5. JAIG ミーティング 2010 in Osaka のフレーム切手を貼り、大阪中央郵便局の風景印を押印した記念カバー 2 種。

6. ブルネイ：第 39 回 SEANET コンベンション 2011 の記念カバー（2011 年 11 月 17 日付 Gadong の消印）と、マレーシア：第 40 回 SEANET コンベンション 2012 の記念カバー（2012 年 11 月 12 日付 KL の消印）

ブルネイで開かれた第 39 回 SEANET コンベンションと、マレーシアの KL で開かれた第 40 回 SEANET コンベンションに、関西空港から出発して参加した時の記念カバーです。日本の切手には出発時の空港郵便局の風景印を押印し、現地の切手には現地の郵便局の消印を押印しています。ブルネイへはシンガポール経由でしたので、シンガポール空港での押印も含めて、3 ケ国のコンビネーションカバーになりました(写真 6)。



写真 6. (左) 第 39 回 SEANET コンベンション 2011 の記念カバー。(右) 第 40 回 SEANET コンベンション 2012 の記念カバー。

関西空港の郵便局名が、2011 年は「関西空港ターミナルビル内」だが、2012 年は「泉佐野・関西空港分室」と変っている。

7. 日本：第 41 回 SEANET コンベンション 2013 の記念カバー（2013 年 10 月 5 日付 横浜港局の消印）。

2013 年の SEANET コンベンションは横浜で開催され、8N1SEA の特別局も運用されました。その QSL カードと共にデザインされたフレーム切手と、それを貼って横浜港郵便局の風景印を押印した記念カバーが参加者に配布されました(写真 7)。



写真 7. (左)8N1SEA の QSL カード。(右)配布された記念カバーに切手を貼り、横浜桜木郵便局の風景印を押印した記念カバー。

次号に続く

JA3AER 荒川さん



JA3AER



*** 記念カバーとP切手 (その3) ***

JA3AER 荒川泰蔵

注：P 切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。

また、国によっては Individual 切手とも呼ばれている。



1. 日本：第1回アマチュア無線フェスティバルの記念カード(1977年9月24日付消印)。

1977年9月24日に東京でアマチュア無線50年記念式典が催され、50円の記念切手が発行されました。晴海の東京国際貿易センターでは、JARLが主催した第1回アマチュア無線フェスティバルが開かれ、会場前には京橋郵便局の臨時出張郵便局が開設されて、その切手の販売とアマチュア無線フェスティバルの小型記念印の押印に応じました。写真は、第1回アマチュア無線フェスティバルの記念特設局 8J1HAM の QSL カードに、その切手を貼り小型記念印を押した記念カードです(写真1)。

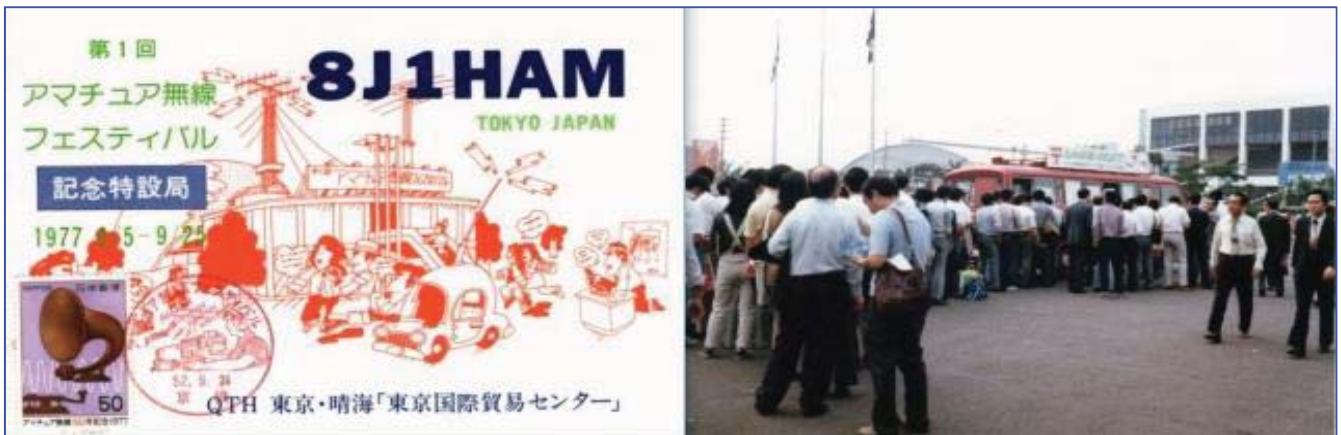


写真1. (左)第1回アマチュア無線フェスティバルの記念特設局 8J1HAM の QSL カードに、その切手を貼り小型印を押した記念カード。

(右)アマチュア無線フェスティバル会場前に開設された、京橋郵便局の臨時出張郵便局に、記念切手と押印を求める長蛇の列。

2. ドイツ：HAM RADIO の記念カバー2種(1991年6月28日付消印と、1993年6月25日)。

ドイツのフリードリヒスハーフェン(Friedrichshafen)で毎年開かれるHAM RADIOは、世界で最も大きなアマチュア無線のコンベンションの一つです。写真は、そのコンベンションに参加した DL4UE, Manfred さんが送ってくれた2種です(写真2)。



写真2. (左)第16回 HAM RADIO の記念消印を押印した記念カバー。消印にはアマチュア無線博物館(AFM)のロゴが描かれている。

(右) HAM RADIO '93 の記念印を押印した記念カバー実通。消印の中央に DARC のロゴが描かれている。

**3. ドイツ：第44回ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)の記念カード(2001年10月20日付消印)と、
スウェーデン：第22回世界スカウト・ジャンボリーの記念カバー(2011年8月5日付消印)。**

第44回JOTA(Jamboree On The Air)の記念カードを紹介します。ドイツのミュンヘンに近いアンツィング(Anzing)の記念消印があり、Radio Scoutingのロゴや、DL0PJのコールサインなどが描かれています(写真3の左)。

スウェーデンのクリシュンスタード(Kristianstad)で2011年7月27日から8月7日まで開かれた、第22回世界スカウト・ジャンボリーに参加されたJA4HCK馬場さんから頂いた記念カバーです(写真3の右)。

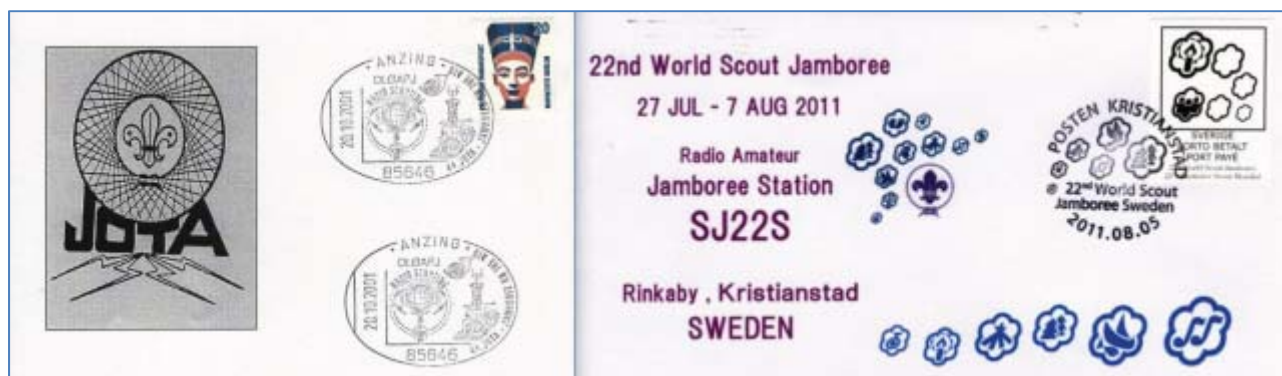


写真3. (左) 2001年の第44回JOTAの記念カード。(右) 2011年の第22回世界スカウト・ジャンボリーの記念カバー。

4. 日本：第52回JLRS指宿総会記念P切手(2009年)と、ドイツ：JAIGミーティング記念P切手(2011年)。

2009年に指宿で開かれたJLRS総会を記念してフレーム切手を作ったと、7K3EOP戸倉さんに頂きました(写真4の左)。

また、前回紹介した2010年の大阪でのJAIGミーティング記念のP切手に刺激されてか、翌2011年にドイツのハルツ(Harz)で開かれたJAIGミーティングで、ドイツ人のメンバーがP切手を作ってくれたと、DF2CW壺岐さんから頂きました(写真4の右)。



写真4. (左) 第52回JLRS総会記念のフレーム切手。(右) ドイツのHarzで開かれたJAIGミーティング記念のP切手。

5. 米国：デイトン・ハムベンション 2012 の記念カバー2種(2012年5月18日付及び19日付消印)

米国のデイトン(Dayton)で毎年開かれるハムベンションも、世界で最も大きなアマチュア無線のコンベンションの一つですが、2012年5月18日から3日間開かれたコンベンションに参加されたJA1CCN 沖田さんから頂いたものです(写真5)。



写真5. デイトン・ハムベンション2012の、記念消印を押印した記念カバー2種 (左) 19日付、(右) 18日付。

**6. インドネシア：第 42 回 SEANET コンベンション 2014 の記念カバー(2014 年 11 月 17 日付 Denpasar の消印)と、
インド：第 43 回 SEANET コンベンション 2015 の記念カバー(2015 年 10 月 15 日付 Alapuzha の消印)。**

インドネシアのバリ島で開かれた第 42 回 SEANET コンベンションと、インドの南西部ケーララ州のアラププーザで開かれた第 43 回 SEANET コンベンションに、関西空港から出発して参加した時の記念カバーです(写真 6)。



写真 6. (左) 第 42 回 SEANET コンベンション 2014 の記念カバー。(右) 第 43 回 SEANET コンベンション 2015 の記念カバー。

**7. タイ：第 44 回 SEANET コンベンション 2016 の記念カバー(2016 年 11 月 18 日付 Suvarnabhumi A.P.の消印)と、
カンボジア：第 45 回 SEANET コンベンション 2017 の記念カバー(2017 年 11 月 16 日付 Siem Reap の消印)。**

タイのパタヤで開かれた、第 44 回 SEANET コンベンションと、カンボジアの世界遺産アンコールワットに近いシエムリアップで開かれた、第 45 回 SEANET コンベンションの記念カバーです。カンボジアでは初めての SEANET コンベンションでした(写真 7)。



写真 7. (左) 第 44 回 SEANET コンベンション 2016 の記念カバー。(右) 第 45 回 SEANET コンベンション 2017 の記念カバー。

8. ドイツ：第 33 回 JAIG ミーティング 2017 in Freiburg の記念カバー(2017 年 5 月 18 日付 Freiburg の消印)。

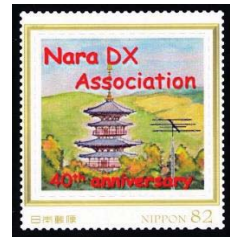
2017 年 5 月 18 日から 3 日間、第 33 回 JAIG ミーティング(日独友好アマチュア無線クラブの年次大会)が、ドイツの南西部のフランスとスイスの国境に近いフライバーク(Freiburg)で開かれ、それを記念した記念カバーを制作しました(写真 8)。



写真 8. 第 33 回 JAIG ミーティング 2017 in Freiburg の記念カバーと、そのミーティングへの参加者達。



JA3AER



*** 記念カバーと P 切手(その 4) ***

JA3AER 荒川泰蔵

注：P 切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。

また、国によっては Individual 切手とも呼ばれている。

フランス：IARU-REF 25 年記念国際会議の記念カード(1950 年 5 月 18 日付記念消印)及び、
同 60 年記念国際会議の記念カバー(1985 年 5 月 25/26 日付記念消印)。

フランスのアマチュア無線連盟 REF 及び国際アマチュア無線連盟 IARU の 25 周年の記念カードと 60 周年の記念カバーで、前者には腕木通信機を発明したクロード・シャップの切手(1944 年 8 月 14 日発行・腕木通信機発明 150 年記念)が貼られ、REF のロゴが入った IARU の国際会議の記念消印が押印されています。また、後者には 1985 年 1 月 25 日発行のフランス TV 放送 50 年記念切手が貼られ、電鍵の図案をあしらった IARU 国際会議記念の消印が押印されています(写真 1)。



写真 1. (左) IARU-REF 25 周年記念国際会議の記念カード。(右) 同 60 周年記念国際会議の記念カバー。

日本：「関東フォクステーリング大会」記念印押印はがき(1985 年 10 月 6 日付記念消印)及び、「宇宙と UFO 国際シンポジウム特別局 in HAKUI」記念印押印はがきとフォルダー(1990 年 11 月 22 日付記念消印)。

群馬県・長野原郵便局の「関東フォクステーリング大会」記念印押印はがき及び、石川県・羽咋郵便局の「宇宙と UFO 国際シンポジウム特別局 in HAKUI」の記念印押印はがきと記念フォルダーを紹介します。後者の記念印は、シンポジウムを記念した特別局 8J9UFO を記念したもので、記念印には 8J9UFO のコールサインと JARL の文字が入っています(写真 2)。



写真 2. 左から、関東フォクステーリング大会記念印押印はがき、宇宙と UFO 国際シンポジウム特別局 in HAKUI 記念印押印はがき、同記念に羽咋南地区郵便局協力が作成したフォルダーに、奥の細道シリーズ切手を貼り記念印を押印した表紙とその内部。

3. 米国：ARRL75年記念カバー(1989年7月20日付記念消印)。

米国のアマチュア無線連盟ARRL75周年記念のキャッチフレーズは「From Spark ... to Space」で、そのロゴをプリントした封筒に、1964年12月15日発行のARRL50周年記念切手等を貼って、Newington局の記念印を押印した記念カバーが作られました。記念消印にはARRLのロゴの他に、From Spark ... としてスパーク送信機の同調コイルと電鍵が描かれ、... to Space としては通信衛星と八木アンテナが描かれています。それでARRL75周年の記念消印と見えますが、消印にはその旨の文字が見えず、「Rededication of Maxim Memorial Station W1AW」とだけ記されています。W1AWはARRLの創設者で初代会長を務めたMaximのコールサインで、現在ARRLのクラブ局のコールサインとして使われています(写真3)。

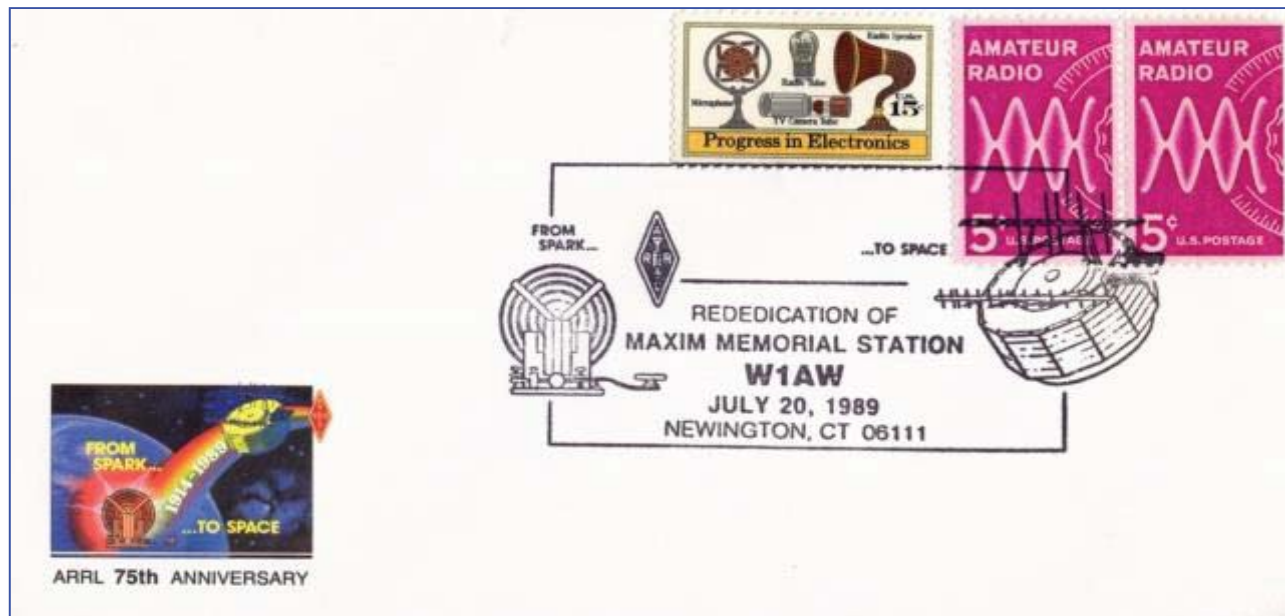


写真3. ARRL75周年記念カバー。

4. ドイツ：第40回DARCボーデン湖会議と第14回HAM RADIOの記念カバー(1989年6月25日付記念消印)及び、第7回HAM STAMP会議と第24回HAM RADIOの記念カード(1999年6月24日付記念消印)。

ドイツのボーデン湖畔、Friedrichshafenで、DARCが主催して毎年開かれているアマチュア無線の国際的なコンベンション/展示会「HAM RADIO」の記念カバーは前回紹介しましたが、今回は、それを兼ねた会議の記念カバーと記念カードを紹介します。前者はドイツのアマチュア無線連盟DRACの第40回ボーデン会議を記念したカバーです。Friedrichshafen局の記念消印にはDRACのロゴとその会議名が記され、並行して「HAM RADIO 1989」と記されています。また、後者はドイツのDL4UE, Manfredさんが主宰する、アマチュア無線切手を蒐集する郵趣家の国際的なクラブ「HAM STAMP CLUB」の第7回ミーティングと第24回HAM RADIOを記念したカードで、記念消印には「HAM RADIO」のロゴが切手の目打ち模様を付けて描かれています。この消印には更にDRACのロゴと第50回ボーデン湖会議の他、アマチュア無線法50周年の文字が見え、多くの記念を兼ねた記念消印になっています。多分DL4UE, Manfredさんが郵便局に働きかけて作られたものでしょう(写真4)。



写真4. (左) 第40回DARCボーデン湖会議と第14回HAM RADIOの記念カバー。

(右) 第7回HAM STAMP会議と第24回HAM RADIOの記念カード。

**5. インド：ハムフェスト in Bangalore 1998 の記念カバー（1998 年 10 月 3 日付記念消印）及び、
ハムフェスト in Chennai 2002 の記念カバー（2002 年 10 月 5 日付記念消印）。**

インドのハムフェストの記念カバー2 種を紹介します。前者は 1998 年 10 月 3 日に Bangalore で開かれた Ham Fest India '98 の記念カバーです。1998 年 10 月 3 日付バンガロール(Bangalore)局の記念消印には、世界地図が描かれ、「FRIENDSHIP THROUGH COMMUNICATION」と書かれています。後者は 2002 年 10 月 5 日に(チェンナイ)Chennai で開かれた Ham Fest India '02 の記念カバーですが、カシエ部分の下に「Madras Amateur Radio Society」の文字と VU2MU のコールサインが書かれており、更にその下のリボンには「MARS 40 Years in HAMDOM」と書かれていて、記念消印には「Madras Amateur Radio Society -VU2MU- ESTD 1962」としかありませんので、マドラス・アマチュア無線ソサエティの 40 周年記念に HFI'02 の記念を重ねたカバーと思われます。MARS が HFI'02 を主催したのかも知れません。マドラスは 1996 年にチェンナイと改名していますが、無線クラブの名称にマドラスを使っているのは興味深いところです(写真 5)。

尚、これらの記念カバーを含む、以下に紹介するインドの記念カバーは、インドの郵趣家 Ashok さん(無線関係の切手などの蒐集家)が制作されたものを、JA4HCK 馬場さん経由で入手したものです。



写真5. (左)ハムフェスト in Bangalore 1998 の記念カバー。(右)ハムフェスト in Chennai 2002 の記念カバー。

6. 日本：アマチュア無線(戦後)再開 50 年記念行事の記念カバー(2002 年 8 月 10 日付天王寺局消印)と

第 11 回 日本アグーナリー(国際障がいスカウトキャンプ)の記念カバー(2012 年 8 月 2 日付野洲局の記念消印)。

日本の 2 枚の記念カバーを紹介します。前者は戦後アマチュア無線が再開されて 50 年になるのを記念して、大阪国際交流センター・ラジオクラブが主催で 2002 年 8 月 9 日から 2 日間、大阪国際交流センターで開催した記念行事(展示会、講演会、映画会、親睦会等々)を行った記念のカバーです。筆者もメンバーとして、米国や英国で入手したビンテージラジオの他、アマチュア無線の切手作品などを出品させて頂きました。記念カバーには、それに参加された 5 人の AA さん(JA1AA 庄野さん、JA3AA 島さん、JA5AA 久米さん、JA9AA 円間さん、JA0AA 阿部さんのサインを貰っています。後者はボーイスカウト日本連盟創立 90 周年記念事業として、2012 年 8 月 2 日から 6 日まで滋賀県で開かれた第 11 回日本アグーナリー(国際障がいスカウトキャンプ)の記念カバーで、日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブが制作したものです。記念カバーに押印された野洲郵便局の記念印には「第 11 回国際障がいスカウトキャンプ」の文字とロゴがデザインされていて、「日本連盟創立 90 周年記念事業」の文字も見えます。このカバーはこの行事の参加された JA5EVQ 湯さんが送ってくれたものです(写真 6)。



写真 6. (左)アマチュア無線(戦後)再開 50 周年記念行事の記念カバー。(右)第 11 回日本アグーナリーの記念カバー。

7. インド : 国際 YL ミーティング 2006 in Mumbai の記念カバー2 種(2006 年 10 月 27 日付記念消印)。

インドのムンバイ(Mumbai)での「国際 YL ミーティング 2006」の記念カバー2 種(貼った切手の違いだけ)を紹介します。これは先に紹介したインドの郵趣家 Ashok さんが制作したもので、記念消印には「INTERNATIONAL MUMBAI YL MEET」と「AMATEUR RADIO SOCIETY OF INDIA」の文字が入っています(写真 7)。



写真 7. : 国際 YL ミーティング 2006 in Mumbai の記念カバー2 種。

8. インド : 第 50 回 JOTA (Jamboree On The Air) 記念カバー(2007 年 10 月 20 日付記念消印)と。

インド : NIAR (National Institute of Amateur Radio) 25 年記念カバー(2008 年 10 月 18 日付記念消印)。

前者は第 50 回 JOTA を記念したもので、記念消印は RADIO SCOUTING の文字とロゴがデザインされた、Bangalore GPO のものです。後者はアマチュ無線協会(NIAR)の 25 周年記念カバーで、記念消印には NIAR 25 のロゴがデザインされていますが、ハイデラバードで開かれた HAM-TEC2008 を兼ね、記念消印はその日の Hyderabad 局のものです(写真 8)。



写真 8. (左) 第 50 回 JOTA (Jamboree On The Air) 記念カバー。

(右) NIAR (National Institute of Amateur Radio) 25 周年記念カバー。

9. 日本 : JLRS 50 年記念(2007)、CQ 誌通算 800 号記念(2012)、NDXA 40 年記念(2012)のフレーム切手。

ここでは 3 種のフレーム切手を紹介します。最初は 2007 年に 50 周年を迎えた JLRS の記念フレーム切手です。使用済みしが残っていないと 7K3EOP 戸倉さんが送ってくれたものです。次の CQ 誌通算 800 号記念と、NDXA40 周年記念のフレーム切手については、次号でそれらの記念カバーを含めて詳しく紹介させていただきます(写真 9)。



写真 9. 左から JLRS 50 年記念(2007)、CQ ham Radio 誌通算 800 号記念(2012)、NDXA 40 年記念(2012)のフレーム切手。

次号に続く

JA3AER 荒川さん



JA3AER

*** 記念カバーとP切手 (その5) ***



JA3AER 荒川泰蔵

注：P切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。

また、国によっては Individual 切手とも呼ばれている。



1. インド：第10回バンガロール ARDF-VHF Day Fox Hunt 記念カバー(2009年5月18日付記念消印)及び、バンガロール・アマチュア無線クラブ 50 周年記念カバー(2009年11月7日付記念消印)。

この2枚の記念カバーは、前号で紹介したインドの郵趣家 Ashok さんが制作したもので、いずれもバンガロール郵便局の記念消印が押されています。左は第10回バンガロール ARDF を記念した記念カバーで、記念消印は八木アンテナを手にして走る選手の図案が描かれています。しかしカシエの下の方を見ると、バンガロール・アマチュア無線クラブ 50 周年と、インド・ハムフェストの記念を兼ねて作られたカバーのようです(写真1の左)。右は、そのバンガロール・アマチュア無線クラブ 50 周年と、インド・ハムフェストの記念カバーです。記念消印にはバンガロール・アマチュア無線クラブのロゴが描かれています(写真1の右)。尚、バンガロールは2005年に SEANET コンベンションが開かれたところです。



写真 1. (左)第10回バンガロール ARDF-VHF Day Fox Hunt 記念カバー。(右)バンガロール・アマチュア無線クラブ 50 周年記念カバー。

2. 日本：タイ国 NBTC 一行・大阪狭山市への来訪記念カバー(2012年12月12日付欧文印消印)、及び狭山池築造 1400 年記念・桜まつり兼 LX1NO 一家来訪記念カバー(2016年4月2日付欧文印と風景印消印)。

タイの HS1ASC, Thida さん(YL)の案内で来日したタイの NBTC (National Broadcasting and Telecommunication Commission) の視察団一行を、大阪狭山アマチュア無線クラブが受け入れ、2012年12月12日にクラブ局 JK3ZCR のある SAYAKA ホールに招いて無線室の見学の他、大阪狭山市の消防署内に設置された Jアラートの設備/システムなども見学して頂きました。それを記念してローカルの郵便局で欧文消印を押した記念カバーを作成し、参加者へのお土産としました(写真2の左)。また、2016年4月2日には、JJ3CIG, JP3AYQ 眞田さんご夫妻の案内で大阪狭山市を訪問されたルクセンブルグの LX1NO, Norby さんご一家を大阪狭山ラジオクラブが迎え入れ、無線室の見学の他、折から開催中の「狭山池築造 1400 年記念・桜まつり」を楽しんで頂いた後、SAYAKA レストランで昼食懇親会を開きました。桜まつりの記念カバーに、ご夫妻のコールサインを記したカバーを作りお土産としました。カバーにはご夫妻のサインがあります(写真2の右)。



写真 2. (左)タイ国 NBTC 一行・来訪記念カバー。(右)狭山池築造 1400 年記念・桜まつり兼 LX1NO 一家・来訪記念カバー。

3. 日本：CQ ham radio 通算 800 号発刊記念カバー2種(2013 年 1 月 19 日付風景印消印)。

CQ ham radio編集部の櫻田編集長の了解を得て、月刊誌CQ ham radioの通巻800号を記念したフレーム切手(P切手)3種類を試作しました。シルバータイプ80円、グリーンタイプ50円、大型タイプ80円の3種類です。そして、これらの切手を使用した記念のカバーを2種類制作し、通巻800号に当たる2013年1月19日の風景印を押すことにしました。50円切手を貼った10枚のカバーは編集部がある「豊島」の風景を押印すべく、櫻田編集長に豊島郵便局へ出向いて頂きました。また、80円切手を貼った10枚のカバーは、連載中の「アマチュア無線の切手」の筆者の住所にある大阪狭山郵便局で、「大阪狭山」の風景印を押印したものです。残念ながら大量に作成してCQ ham radio誌をPRするチャンスがなく試作品のみで終わりましたが、これらが数少ない記念カバーになりました(写真3)。



写真3. CQ ham radio通算800号発刊記念カバー2種、左は豊島局の風景印、右は大阪狭山局の風景印

4. 英国：英国アマチュア無線連盟(RSGB)100 周年記念カバー(2013 年 7 月 5 日付消印)。

英国のアマチュア無線連盟RSGBは、2013年に100周年を記念して豪華な記念カバーを制作して頒布しました。このカバーは250枚限定で、裏に「173 of 250」とあります。切手はロンドンの北西にあるブレッチリー・パークの「Station X」の図案の切手(2011年発行)が貼られ、Bletchley局2013年7月5日付の消印が押されています。「Station X」は戦時中の暗号解読の拠点だったようです。同封されている説明書によりますと、1913年7月5日に会員4名で発足したロンドン無線クラブが基点の様で、初年度に会員は151人まで増えたそうです。その後発展しつつ社会に貢献し、第2次大戦中は通信士として陸海空軍に分かれて従軍し、家にいた人はボランティアとして無線で敵の情報を傍受して、解読の為に「Station X」へ送ったそうです。終戦後と新しいミレニアムには、伝播実験、VHFの長距離通信、宇宙への通信衛星の打ち上げなど、アマチュア無線家は総てに関与してきたと伝えています。そして、新たな雑音の発生源の増加や、限られた周波数資源の分配などの課題に直面しており、RSGBは次の100年に向けてリーダーシップを発揮し、世界のパートナーと協力して、アマチュア無線を保護し発展させるため、真剣に取り組む必要があると結んでいます(写真4)。

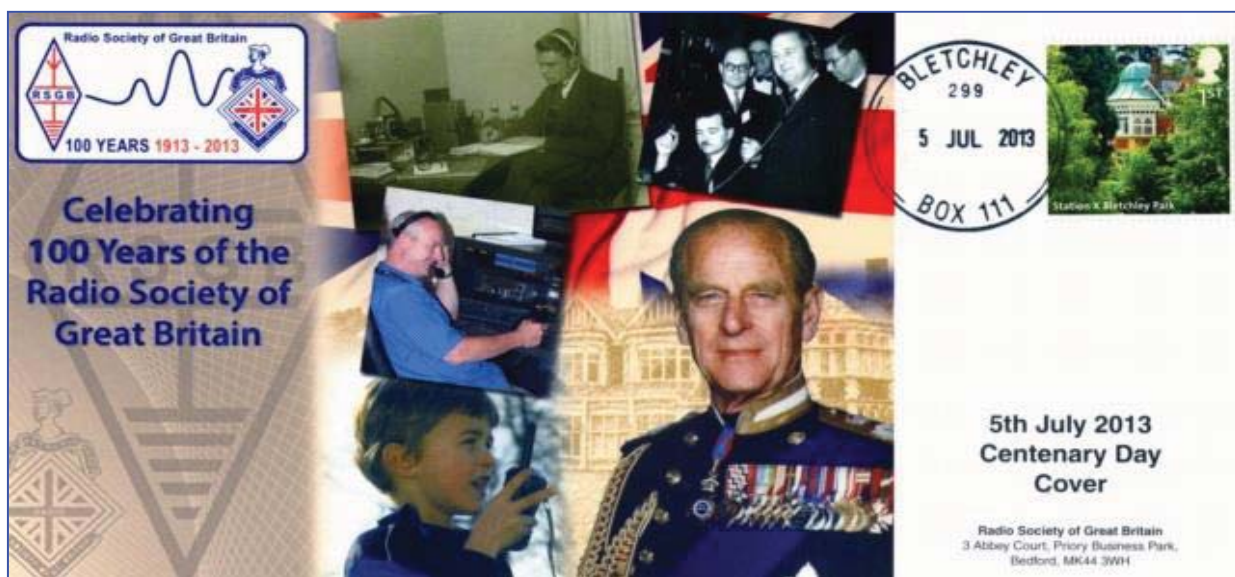


写真4. 英国アマチュア無線連盟(RSGB)100周年記念カバー

5. 日本：スポーツ祭東京 2013 特別記念局 8J1TK/1 運用記念カバー(2013 年 9 月 25 日付風景印消印)。

狭山池築造 1400 年記念アマチュア無線局 8J3SP 運用記念カバー(2015 年 8 月 20 日付風景印消印)。

「スポーツ祭東京 2013」で、JARL 東京都支部・多摩無線クラブが特別記念局 8J1TK/1 を運用した時の記念のカバーで、同クラブの JA1DKU 伊藤さんが、筆者が CQ 誌に連載した「アマチュア無線の切手」の記事をヒントに作ったと、CQ 誌編集部を通じて送ってくれたものです。2013 年に東京都で開かれた、第 68 回国民体育大会の記念切手を貼り、多摩郵便局の風景印が押されています(写真 5 の左)。右は、「狭山池築造 1400 年記念」事業の一環として、大阪狭山ラジオクラブ(OSRC)が特別記念局 8J3SP を運用しましたが、記念事業を主催した大阪狭山市の許可を得て、その記念のロゴとコールサインをデザインした、運用記念のフレーム切手(P 切手)を作り、そのフレーム切手を貼って、運用開始 2 ヶ月後に大阪狭山郵便局の風景印を押した記念カバーです(写真 5 の右)。尚、8J3SP は 2015 年 6 月 20 日から 2016 年 12 月 31 日まで、約 1 年半の長期間に亘って運用され、国内外に大阪狭山市と狭山池を PR しました。狭山池は日本最古の人工灌漑用溜池です。



写真5. (左)スポーツ祭東京2013記念・8J1TK/1運用記念カバー。(右) 狭山池築造1400年記念・8J3SP運用記念カバー

6. 日本：奈良 DX アソシエーション(NDXA)創設 40 周年記念カバー(2014 年 12 月 23 日付風景印消印)。

1972 年に創設された我々の奈良 DX アソシエーション(NDXA)では、2014 年に新デザインのクラブ旗が作られた機会に、創設周年記念のフレーム切手と記念のカバーを作ろうということになりましたが、42 周年とするより切りの良い 40 周年の方が良いだろうと、創設 40 周年の大型フレーム切手を作り、カバーはその切手を貼って、記念切手発行記念とした記念カバーを作りました。切手のデザインは会長である JJ3PRT 青木さんを通じて、クラブ旗のデザイナーにイメージを揃えたデザインを依頼したものです。記念カバーのカシエにはクラブ旗をデザインし、2 年遅れをカバーする為の苦肉の策で、カバーには記念切手発行記念と付記しています。これを忘年会で頒布することになり、忘年会の開催地奈良市に因んで、その当日(2014 年 12 月 23 日)の、奈良中央郵便局の風景印を押しています(写真 6)。



写真 6. (左) 奈良 DX アソシエーション(NDXA)創設 40 周年記念カバーと、(右) 同、記念 P 切手 4 枚ブロック。

**7. ドイツ：ドイツ・アマチュア無線連盟(DARC)65 周年記念 P 切手(2015 年 6 月 26 日発行)、及び
DARC アマチュア無線センター(AFZ)45 周年記念 P 切手 2 種(2017 年発行)。**

ここに紹介するのはドイツの P 切手です。左側の P 切手は、2015 年 6 月 26 日にドイツのアマチュア無線連盟(DARC)の 65 周年を記念して発行された 1 種で、DF2CW 壱岐さんが送ってくれたものです。DARC アマチュア無線センターが描かれています。右側の額面が違う 2 種の P 切手は、2017 年に、その DARC アマチュア無線センター(AFZ)の 45 周年を記念して発行されたもので、DL4UE, Manfred さんが送ってくれました(写真 7)。



写真 7. (左)ドイツ・DARC 65 周年記念 P 切手。(右 2 枚) DARC アマチュア無線センター(AFZ) 45 周年記念 P 切手。

8. ドイツ：ドイツ・アマチュア無線連盟(DARC)65 周年記念フォルダー(2015 年 6 月 26 日付消印)。

上記の記念 P 切手を貼った、ドイツのアマチュア無線連盟(DARC)の 65 周年を記念したフォルダーです (写真 8)。



写真 8. ドイツ・アマチュア無線連盟(DARC) 65 周年記念フォルダー。

9. ドイツ：DARC アマチュア無線センター(AFZ)45 周年記念 P 切手 2 種貼り実通(2017 年 5 月 1 日付消印)。

上記第 7 項の 2 種の P 切手を貼った筆者宛ての実通で、DL4UE, Manfred さんが送ってくれたものです(写真 9)。



写真 9. DARC アマチュア無線センター(AFZ) 45 周年記念 P 切手 2 種を貼った実通。

次号に続く JA3AER 荒川さん

Members DX Reports

JA3AER



*** 記念カバーとP切手 (その6) ***

JA3AER 荒川泰蔵

注：P切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。

また、国によっては Individual 切手とも呼ばれている。



1. ノルウェー：ノルウェー領北極地域 3 島への DX ペディション 1981 記念カバー (1981 年消印)。

この3枚の記念カバーは、ノルウェーのスヴァールバルに住んでいたJW5NM, Math Bjerrangさん(故人)から1983年頃に譲って頂いたもので、ノルウェー領北極地域の3つの島へのDXペディション記念に作られたカバーです(写真1)。それぞれに1枚ずつノルウェーの普通切手を貼り、ヤンマイエン島は1981年10月9日付、スヴァールバル諸島は1981年12月14日付、ビュルネイ島は1981年12月21日付の消印です。スヴァールバル諸島の消印はISFJORD RADIOとありますが、これはこの島の通信サイト内にある郵便局と思われます。筆者もメンバーである国際的な「ハム・スタンプクラブ」は、このJW5NM, Mathさんが創設したもので、彼が亡くなった後、ドイツのDL4UE, Manfred G. Bussemerさんが引き継いで主宰してくれています。



写真 1. DX ペディション 1981 の記念カバー (左) ヤンマイエン島(JX)。(中) スヴァールバル諸島(JW)。(右) ビュルネイ島(JW)。

2. 豪領南極地域(A.A.T.)：ハード島 DX ペディション 1983(VK0JS)記念カバー (1983 年 1 月 5 日付記念印消印)。

このカバーは、英国のRSGB/IOTAコンベンション1995で会ったVK9NS (ex.G3HSR), James B. Smithさん(故人)から頂いたものです。彼は1983年に行われたハード島DXペディションの隊長で、カバーには彼の署名が入っています。ハード島には郵便局がないので、豪領南極地域の切手を貼って、タスマニア島のKingston局の消印が押されています。出航前に押されたのか、日付は1983年1月5日付です。消印にはANAREの文字が見えます。これはAustralian National Antarctic Research Expeditionの略で、このDXペディションは学術調査を兼ねたものだったようです。また、カバーの裏側にはケルグラン諸島(FT/X)のPort aux Francais局の1983年2月3日付の消印が押されていることから、途中でこの仏領の島に立ち寄ったことが伺えます。記念カバーに残された消印から色んな想像/推察が出来ますが、当時のDXペディションの記録があれば、それを確認することが出来るし、またこのカバーその記録のエビデンスとして生きてきます。(写真2)。

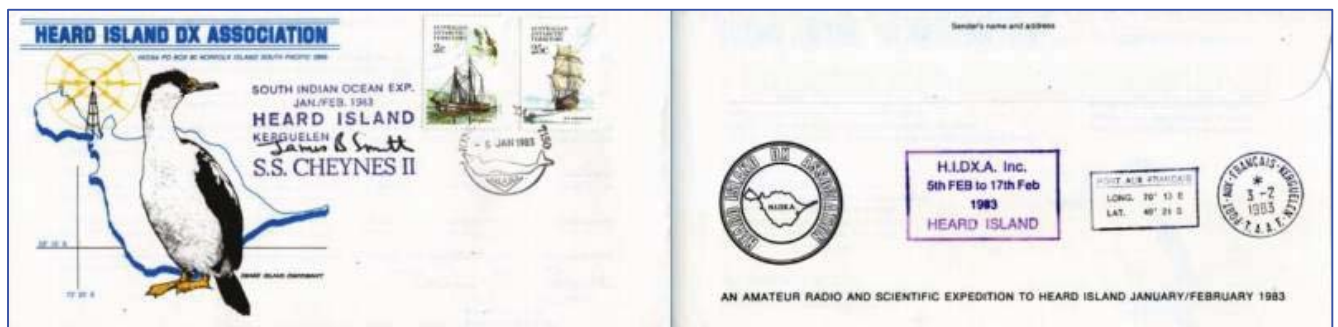


写真 2. 南インド洋・ハード島 DX ペディション 1983(VK0JS)の記念カバーの表と裏。

3. 仏領南方・南極地域(T.A.A.F.) : ハード島 DX ペディション 1997(VK0IR)記念カバー2種(1997年消印)。

1997年1月14日から27日まで、20人の国際チームによりハード島からVK0IRのコールサインで運用されました。NDXAの皆さんはQSOされたことと思いますが、参加されたシンガポールの9V1YC, James Brooksさんが、動画をYouTubeにUpしていますので、そのDXペディションの様子を見ることが出来ます。<https://www.youtube.com/watch?v=mEkc6LbWM-0>
この2枚の記念カバーは、ON6TT, Peter Casierさん宛ての実通で、仏領南方・南極地域の切手が貼られ、1枚がクロゼ島(FT/W)1997年1月16日付の消印、もう1枚がアムステルダム島(FT/Z)1997年1月22日付の消印が押されています。この両日は、VK0IRがハード島での運用期間中ですので、リーダーの一人として参加したON6TT, Peterさんが、レユニオンからの航海途上で立ち寄ったこれらの島々で、自分宛てに送るよう島の郵便局に託したのかも知れません。筆者がどのようにこれらのカバーを入手したかは思い出せませんが、多分ON6TT, Peterさんから何かの形で譲り受けたのでしょう (写真3)。



写真3. ハード島DXペディション1997(VK0IR)の記念カバー2種。(左) クロゼ島の消印。(右) アムステルダム島の消印

4. 仏領南方・南極地域(T.A.A.F.) : トロムラン島 DX ペディション 2014 記念カバー(2014年11月6日付消印)。

これはNDXA Report 2015年3月号でも紹介したのですが、トロムラン島から直接届いた手紙です。即ち実際に郵便物として配達されたものです。写真をご覧頂くと、筆者の宛名が書かれていて、2015年2月8日に筆者の郵便受けに配達されたものです。封筒にはこのDXペディションの記念切手/小型シートが貼られ、2014年11月6日付けの記念消印が押されています。その左にはTAAFの通常切手が4枚貼られ、同日付けの日付印が押されています(写真4)。筆者はこのDXペディションに幾ばくかのドネーションをしたこともあり、チーム内の郵趣家が特別に配慮して送ってくれたのでしょう。記念切手が発行された初日の2014年11月6日にトロムラン島から差し出され、多分パリ経由で約3ヶ月かかってに日本へ届いたものと思われます。



写真4. 仏領トロムラン島 DX ペディション 2014(FT4TA)記念カバー(記念切手/小型シートの初日記念印を押印した実通)

5. 仏領南方・南極地域(T.A.A.F.) : ファンデノバ島DXペディション2016記念カバー(2016年4月10日付消印)。

この DX ペディションでは、JJ3PRT 青木さんがサポートチームの一員として、また JA のパイロットとして活躍されました。NDXA は勿論多くのメンバーがドネーションをしてサポートしました。お陰で筆者も 4 月 6 日に QSO が出来て、その QSL カードを送って頂いたのがこの封筒で、この DX ペディションの記念に発行された仏領南方・南極地域の切手付き記念封筒です(写真 5)。消印はファンデノバ 2016 年 4 月 10 日付ですが、他にもフランスの郵趣家を送ってくれた 4 月 1 日付の消印のカバーが存在しますので、この記念封筒の発行日は 4 月 10 日ではなく、残念ながらこれは初日カバーではありません。



写真5. 仏領ジュアンデヌバ島DXペディション2016(FT4JA)記念カバー(記念切手付封筒の実通)

6. 日本 : 奈良 DX アソシエーション(NDXA)創設 40 周年記念カバー(2014 年 12 月 23 日付風景印消印)。

1972 年に創設された我々の奈良 DX アソシエーション(NDXA)では、2014 年に新デザインのクラブ旗が作られた機会に、創設周年記念のフレーム切手と記念のカバーを作ろうということになりましたが、42 周年とするより切りの良い 40 周年の方が良いだろうと、創設 40 周年の大型フレーム切手(P 切手)を作り、カバーはその切手を貼って、記念切手発行記念とした記念カバーを作りました。切手のデザインは JJ3PRT 青木さんが、クラブ旗のデザイナーにイメージを揃えたデザインを依頼して P 切手を作ってくれたものです。記念カバーのカシエにはクラブ旗をデザインし、2 年遅れをカバーする為の苦肉の策で、カバーには記念切手発行記念と付記しています。これを忘年会で頒布することになり、忘年会の開催地奈良市に因んで、その当日(2014 年 12 月 23 日)の、奈良中央郵便局の風景印を押しています(写真 6)。

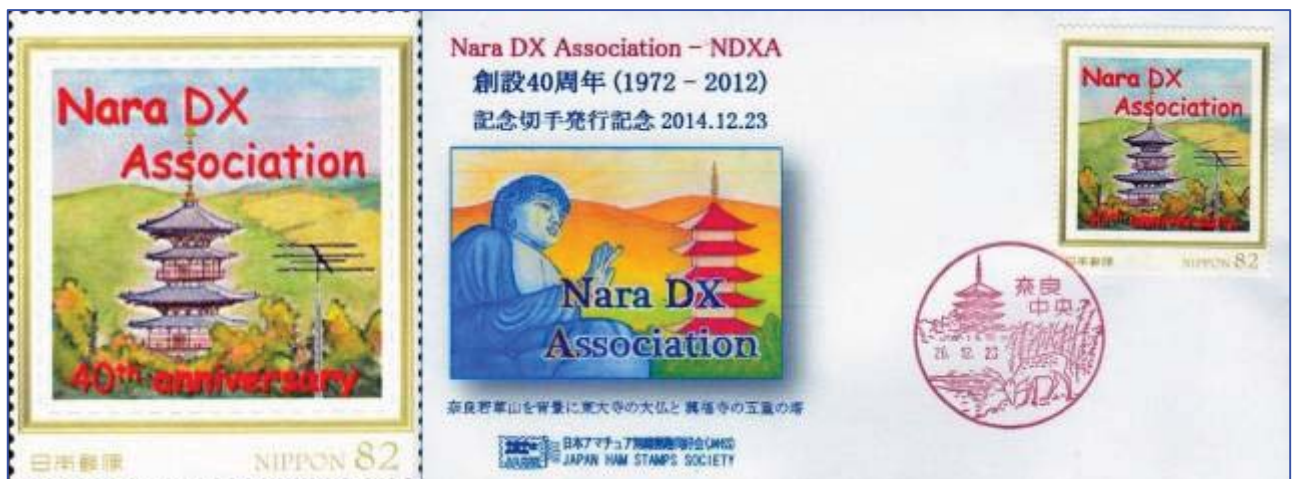
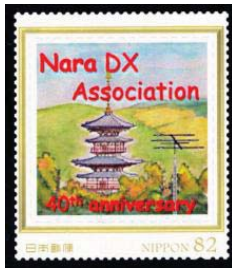


写真 6. (左) 奈良 DX アソシエーション(NDXA)創設 40 周年記念 P 切手と、(右) 同、記念カバー。

次号に続く

Members DX Reports

JA3AER



*** 記念カバーとP切手 (その7) ***

JA3AER 荒川泰蔵

注：P切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。

また、国によっては Individual 切手とも呼ばれている。



1. 京都嵐山の法輪寺の電波塔と電電宮

郵趣家であり、DXer でもある OH2YV, Veikko さんに、電電宮に顕彰されている人物を確かめ、関係する切手や絵葉書の入手を頼まれていたこともあり、去る5月、観月橋に近い法輪寺の境内にある電電宮に参拝してきました。法輪寺の山門をくぐるとすぐ電電塔があり、その背後にエジソンとヘルツを顕彰パネルがあって、「電気電波の祖神電電宮が祭祀されている、当法輪寺境内に電電塔を建立し、その発展の基を築かれたエジソン(右)並びにヘルツ(左)の胸額を壁面に飾りその功を顕彰すると共に、広く電気電波の発展隆唱に貢献された先覚功労者の霊を慰めるものである。法輪寺電電宮護持会」とありました(写真1)。



写真1. 法輪寺境内にある電電塔と背後のエジソンとヘルツの顕彰碑。

また、そこから奥へ進むと、左側に目指す電電宮がありました。思いの他こじんまりした鳥居と祠で、「電電宮は当法輪寺の鎮守社五社明神の一つである電電明神が奉祀されており、古来電電陰陽融合光源の徳を祖とした鎮守としてあがめられてきた。今日で云う電気電波の祖神が祭祀されている。同宮は幕末の兵火で焼失したが、昭和四十四年電気電波関連業界の発展と繁栄を新たに祈願する趣旨から、新社殿の再興がなされ今日に至っている。電力、電機電子、電波の発展は人類の生活文化向上に大きく貢献し、世界の平和と繁栄に不可欠なものであり、その始祖を奉祀する電電宮は広く電気、電波関係者より崇敬されている。法輪寺電電宮護持会」と記した標識がありました(写真2)。残念ながら、Veikko さんから頼まれた郵趣品(切手や絵葉書)は社務所でも見つけることが出来ませんでした。



写真2. 法輪寺境内にある電電宮。

2. 日本：JARL 関西支部大会記念カバー(1967 年 5 月 7 日付大阪中央郵便局と高槻郵便局の消印)及び、

JARL 第 17 回通常総会記念カバー(1975 年 5 月 25 日出雲郵便局の消印)。

さて、話を「記念カバーとP切手」に戻して、今回から2回に分けてJARL通常総会の記念カバーを中心に、時系列で紹介させていただきます。先ず昭和42年(1967年)のJARL関西支部大会の記念カバーですが、今から52年前のもので。筆者が初めて海外(東南アジア)へ赴任する直前に高槻市で開かれたJARL関西支部大会に参加した時に作った記念のカバーです。大阪中央郵便局と高槻郵便局の消印がありますから、当時住んでいた東住吉区瓜破東の町(現在は平野区)からJRの大阪駅または阪急の梅田駅経由で高槻へ出かけたのでしょう。記憶は薄れていますが、このカバーが証拠として残っています。次は昭和50年(1975年)に出雲市で開かれたJARLの通常総会に参加した時の記念のカバーです。同年3月20日に発行された「放送50年記念」切手を貼って、出雲郵便局の5月25日の消印です。筆者は当時奈良県の評議員を務めていたので、前日に開催されたJARL評議員会に出席するため出雲市に出かけ、総会にも出席していたのでしょう。これも今から44年も前の事でよく覚えていませんが、このカバーがそれを思い出させてくれています(写真3)。



写真 3 (左) 1972 年 JARL 関西支部大会記念カバー。(右) JARL 第 17 回通常総会記念カバー。

3. 日本：JARL 第 18 回通常総会 1976 年記念はがき(1976 年 5 月 29 日付高岡郵便局の風景印消印)及び、

JARL 第 19 回通常総会 1977 年記念はがき(1977 年 5 月 28 日付天童郵便局の風景印消印)

奈良県大和郡山市在住時に、JARL の評議員を務めさせて頂き、毎年各地で催される通常総会の前日の評議員会に出席し、続けて総会にも出席していました。その頃に記念にと作成し、その地の風景印を押してもらった昭和 51 年(1976 年)と昭和 52 年(1977 年)の 2 枚の記念はがきです(写真 4)。



写真 4 (左) JARL 第 18 回通常総会記念はがき。(右) JARL 第 19 回通常総会記念はがき。

4. 日本：JARL 第 19 回通常総会 1977 年記念カバー(1977 年 5 月 28 日付天童郵便局の風景印消印)及び、
JARL 第 20 回通常総会 1978 年記念カバー(1978 年 5 月 21 日付鹿児島中央郵便局の風景印消印)。

この2枚の記念カバーも前項と同様に、評議員会と総会に出席した際に記念に作成した記念カバーで、その地の風景印を押してもらった1977年と1978年の記念カバーです。その後、米国へ転勤になり評議員は退任させて頂きました(写真5)。



写真5 (左) JARL第19回通常総会記念カバー。(右) JARL第20回通常総会記念カバー(実通)。

5. 日本：第 28 回 JARL 福島通常総会特別記念小型印(1986 年 5 月 25 日付福島花園町郵便局)及び、
第 28 回 JARL 福島通常総会特別記念小型印(1986 年 5 月 25 日付福島文知摺郵便局)

その後、JARL第28回通常総会では、開催地の実行委員会が郵便局に申請して作ったのか、福島県の花園町郵便局と、文知摺郵便局の「第28回(社)日本アマチュア無線連盟福島通常総会」とした特別記念小型印がありました(写真6)。



写真6 第28回JARL福島通常総会特別記念小型印2種。(左) 福島花園町郵便局と、(右) 福島文知摺郵便局。

6. 日本：第30回JARL通常総会(瀬戸大橋総会)特別記念小型印(1988年5月29日付香川郵便局)。

第 30 回通常総会時には香川郵便局の協力を得た「第 30 回 JARL 通常総会・瀬戸大橋総会記念」としたフォルダーに、同年 4 月 8 日発行の瀬戸大橋開通記念切手を貼って特別記念小型印を押したフォルダーが作られました(写真 7)。

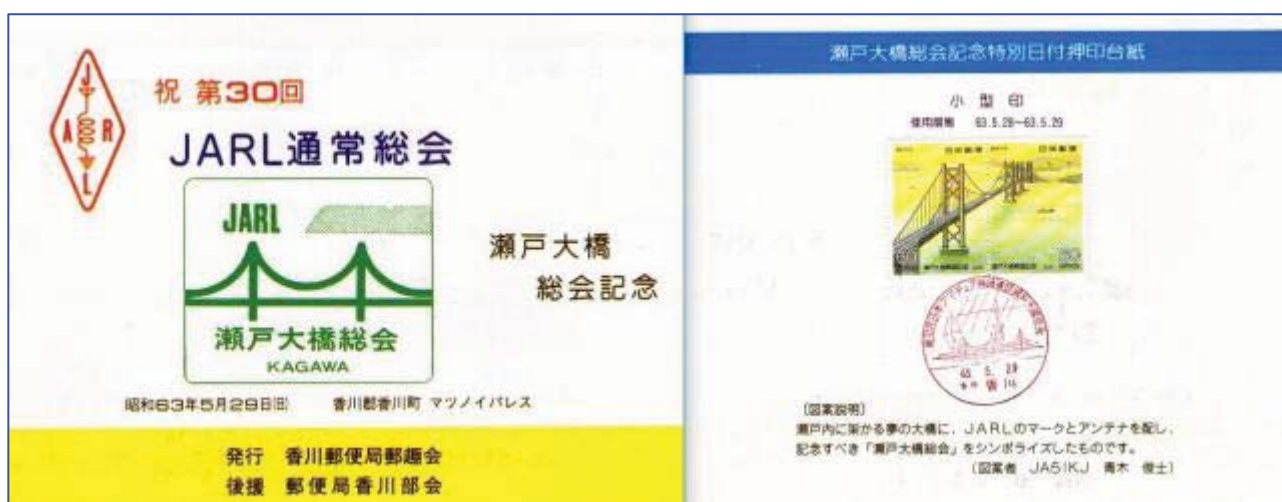


写真7 第30回JARL瀬戸大橋総会記念フォルダー。(左)表紙と、(右)切手を貼り記念押印された内側のページ。

7. 本 第32回JARL通常総会(かなざわ総会)特別記念 型印(1990年5 27 付 , 沢中央郵便局)。

第 32 回通常総会時には、金沢中央郵便局の協力を得られたのか、「JARL かなざわ総会記念」としたフォルダーに、同年 4 月 27 日発行のふるさと切手(石川県)のクロユリの切手と、同年 4 月 18 日発行のふるさと切手(北陸)の立山と称名滝の切手を貼って、それぞれに特別記念小型印と和文日付印を押した記念のフォルダーが作られました(写真 8)。



写真 8 第 32 回 JARL かなざわ総会記念フォルダー。(左)表紙と、(右)切手を貼り記念押印された内側のページ。

筆者はこの第 32 回 JARL 金沢通常総会に参加して、持参していた「国際花と緑の博覧会」記念の JA3AER の QSL カードと、兼六園の絵葉書に、同年 3 月 30 日発行の国際花と緑の博覧会記切手を貼って、特別記念小型印を押印してもらい、参加の記念としました(写真 9)。その直後、筆者はまた海外勤務を命じられ、この年の 12 月に英国へ赴任しました。



写真 9 第 32 回 JARL かなざわ総会の特別記念小型印を押した記念カード 2 種。(左) QSL カードと、(右) 地元の絵葉書の裏面。

8. 第 46 回 JARL 通常総会(おおさかいけだ総会)特別記念小型印(2004 年 5 月 22 及び 23 日付池田郵便局)。

日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)を主宰する JA4HCK 馬場秀雄氏は、この第 46 回 JARL 通常総会以降、第 51 回を除く、最後の 53 回まで 7 年間に亘り、総会の実行委員会を促し、地元の郵便局に働きかけて、総会記念の特別記念小型印を制作させてこられました。また、毎回カードや封筒に独自の記念の印刷をされ、それに切手を貼って特別記念小型印を押印した記念カードや記念カバーを制作されました。これはその最初の第 46 回通常総会の記念カードとカバーです(写真 10)。



写真 10 第 46 回 JARL 通常総会記念、22 日消印の記念カード(左)と、23 日消印の記念カバー(右)。

次号に続く



*** 記念カバーとP切手 (その8) ***

JA3AER 荒川泰蔵

注：P切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。

また、国によっては Individual 切手とも呼ばれている。



1. マーケット・リーフ (Market Reef) からの絵葉書。

去る7月、マーケット・リーフの写真に「MARKET OJ0 1969-2019」書かれたオーランド(ALAND)のP切手を貼った絵葉書が届きました(写真1)。消印には「HAMARLAND MARKET 18-6-2019」とあり、差出人は Pasi さんであることしか分かりません。心当たりとして、先月号で紹介した OH2YV, Veikko さんにメールで問い合わせて見ますと、やはり彼が友人の OH3WS, Pasi さんに頼んで送ってくれたものでした。Pasi さんは元フィンランドアマチュア無線連盟(SARL)の会長だったそうですが、彼が注文をまとめ、ボランティアによるマーケット・リーフの灯台の修復団体に依頼して送ってくれたそうです。ボランティア団体は灯台の修復資金の足しにすべく、リーフにある小さな店で絵葉書や特別な切手を販売しているそうです。

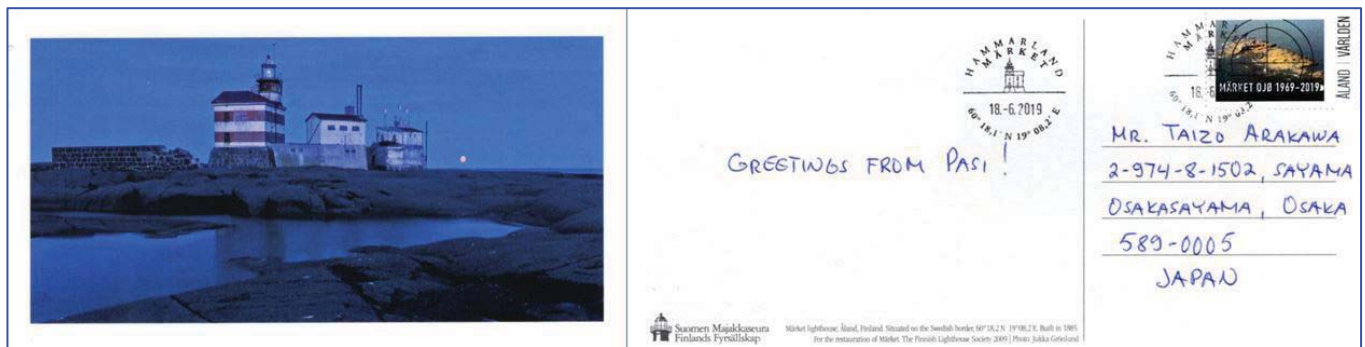


写真1. オーランドのP切手を貼ってマーケット・リーフから届いた絵葉書の裏表

OH2YV, Veikko さんはメールで、8月17日から24日までOJ00のコールサインでDXペディションが予定されており、有名なDXerであるJH4RHFがメンバーに加わるだろうと知らせてくれました。幸運なことにJH4RHF 田中純一さんが関八で講演されるというニュースを聞き、会場に来られた田中さんとアイボール QSO ができて、マーケット・リーフ DX ペディション記念カバーの制作を依頼することが出来ました。田中さんの講演は入場申込者が多く満席で、残念ながら聞かせて頂くことが出来ませんでした。



写真2. (左) OH2YV, Veikko さんの近影 (2019年7月)。

(右) OJ0 へのDXペディションを計画中のJH4RHF 田中純一さんと (2019年7月・関八にて)。

2. 日本：第47回JARL(せんだい・杜の都)通常総会特別記念小型印(2005年5月17日付仙台東郵便局)。

さて、話を「記念カバーとP切手」に戻して、前月号に続きJARL通常総会の記念カバーです。第47回JARL通常総会は、愛称を「せんだい・杜の都通常総会」としたのか、仙台東郵便局の特別記念小型印にはその名称と共に総会のロゴが入っています。JA4HCK馬場さんは、この記念カバーを封筒に入れて送ってくれましたが、それにも記念小型印が押されていて記念の実通封筒になっています。この時、特別記念局8N7JARLが運用されたのか、記念カバーのカシエには総会のロゴと共に、そのコールサインが印刷されています(写真3)。



写真3 (左) 第47回JARL通常総会記念カバー。(右) 第47回JARL通常総会特別記念小型印で消した実通封筒。

3. 日本：第48回JARL(くまもと・火の国)通常総会特別記念小型印(2006年5月28日付熊本東郵便局)。

第48回JARL通常総会は、愛称を「くまもと・火の国通常総会」としたのか、熊本東郵便局の特別記念小型印にはその名称と共に火山(阿蘇山)をイメージした総会のロゴが入っています。JA4HCK馬場さんは、その記念カバーの他に、記念カードも制作され、それには特別記念局8J6HIGOのコールサインと共に、熊本城をイメージしたロゴ入りの特別記念小型印風のデザインが印刷されています。採用された小型印のデザインの代案として用意されたものかも知れません(写真4)。



写真4 (左) 第48回JARL通常総会記念カバー。(右) 第48回JARL通常総会記念カード、小型印と風景印が押されている。

4. 日本：第49回JARL 晴れの国・おかやま通常総会特別記念小型印(2007年5月20日付児島郵便局)。

第49回JARL通常総会は、愛称を「晴れの国・おかやま通常総会」としたのか、児島郵便局の特別記念小型印にはその名称と共に岡山県のマスコットが描かれています。JA4HCK馬場さんは、その記念カバーの他に、カバーのカシエと同じ図案の記念カードも制作され、それらには、特別記念局8J49JARLのコールサインと共に岡山県のマスコットが描かれています(写真5)。



写真5 (左) 第49回JARL通常総会記念カバー。(右) 第49回JARL通常総会記念カード。

5. 日本：第50回日本アマチュア無線連盟よさこい高知通常総会特別記念小型印(2008年5月25日付高知郵便局)。

第50回JARL通常総会は、愛称を「よさこい高知通常総会」としたのか、高知郵便局の特別記念小型印にはその名称と共に、よさこい鳴子の図案が描かれています。JA4HCK馬場さんは、その記念カバーの他に、カバーのカシエと同じ図案の記念カードも制作され、それらには、特別記念局8J50JARLのコールサインと共によさこい高知通常総会のロゴが描かれています(写真6)。



写真6 (左) 第50回JARL通常総会記念カバー。(右) 第50回JARL通常総会記念カード。

6. 日本：第52回JARL総会 名古屋市 特別記念小型印(2010年5月30日付昭和郵便局)と、

日本：JARL臨時総会 寝屋川市 記念カバー(2010年11月21日付寝屋川郵便局風景印押印)。

第52回通常総会は名古屋市で開かれ、昭和郵便局の特別記念小型印には「第52回JARL総会名古屋市」とその名称と共に、名古屋城の金鯱が描かれています。また記念カバーのカシエには、特別記念局8J2Aのコールサインも描かれています(写真7の左)。この第52回総会では、公益法人改革に関する法律の施行に伴う定款変更の議事が紛糾して、議題が持ち越されたため、2010年11月21日に寝屋川市で臨時総会が開催され、定款変更案等の審議が行われました。その臨時総会の記念カバーが急遽作られ、通常切手を貼って寝屋川郵便局の風景印が押されました(写真7の右)。



写真7 (左) 第52回JARL通常総会記念カバー。(右) JARL臨時総会(寝屋川)記念カバー。

7. 日本：第53回JARLおおさか・いけだ通常総会記念及び特別記念局8N3START運用記念のコンビネーションカバー(2011年5月29日付、池田郵便局の特別記念小型印と、同4月15日付、大阪狭山郵便局の風景印を押印)。

第53回JARL通常総会に先立って、その特別記念局8N3STARTが大阪府内持ち回りで運用され、大阪狭山ラジオクラブ(OSRC)では4月3日から14日まで運用して、その運用後に記念カバーを制作しました(写真8)。



写真8 (左) 第53回JARL通常総会記念と特別記念局運用記念のコンビネーションカバー。(右) 8N3STARTのQSLカード。

8. 日本：第 53 回 JARL おおさか・いけだ通常総会特別記念小型印(2011 年 5 月 29 日付池田郵便局)。

第 53 回 JARL 通常総会は、JARL の正員が誰でも参加できる最後の総会となり、「平成 23 年度の連盟の方針を決定する重要な会議」である旨の案内と共に入場券/委任状が送付されました。この第 53 回 JARL 通常総会を記念して、特別記念小型印が、日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)の主宰者 JA4CHK 馬場秀雄氏の依頼により、通常総会実行委員会の実行委員長 JL3JRY 屋田純喜氏が、池田郵便局に申請して制作されました。通常総会当日の 5 月 29 日には、会場となった池田市民文化会館(アゼリアホール)に池田郵便局の臨時郵便局が設けられ、その特別記念小型印の押印に応じました。筆者も JAHSS のメンバーとして、記念カバーと記念カードの印刷/配布に協力させて頂きましたが、この臨時郵便局で多くの人達がそれらに切手を貼って、また通常はがきを買って、この特別記念小型印を押印して貰い記念品にされました(写真 9 及び 10)。

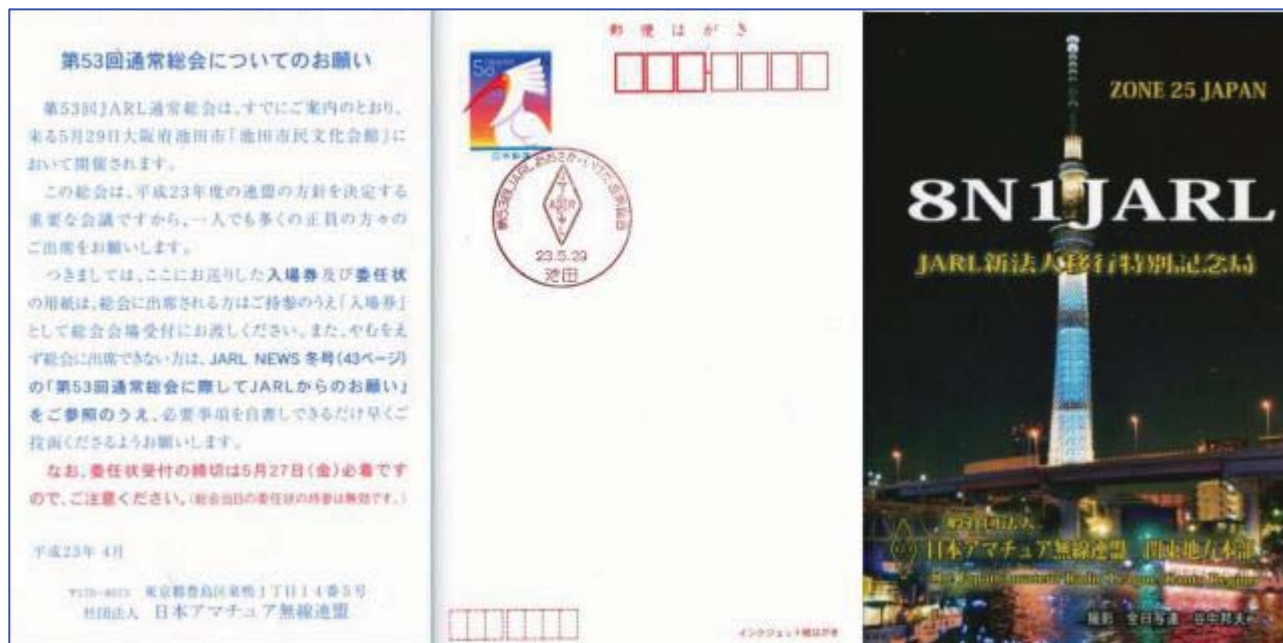


写真 9 (左) 第 53 回通常総会の案内状。(中央) 通常はがきに押印された第 53 回通常総会特別記念小型印。

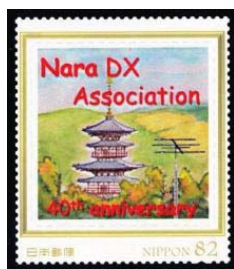
(右) JARL 新法人移行特別記念局 8N1JARL の QSL カード(2012 年)。



写真 10 (左) 第 53 回 JARL 通常総会の記念カバー。(右) JA4HCK 馬場秀雄氏と関ハム 2019 にて。

以上、前月号から 2 回にわたって JARL 通常総会記念カバーを中心に紹介させて頂きましたが、前月号の第 8 項でも紹介しましたように、日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)を主宰する JA4HCK 馬場秀雄氏は、2004 年の第 46 回 JARL 通常総会から第 53 回までの 7 年間に亘り、総会の実行委員会を促し、地元の郵便局に働きかけて、総会記念の特別記念小型印を制作させてこられました(北海道で開催された 2009 年の第 51 回通常総会では、残念ながら交渉が上手くいかず実現しませんでした)。そして毎回、封筒やカードに独自のカシエを印刷され、それに切手を貼って特別記念小型印を押印した記念カバーや記念カードを制作してこられました。その期間の最初と最後の通常総会の会場は、くしくも関西アマチュア無線フェスティバル(関ハム)が毎年開催されている、池田市のアゼリアホールでした。

次号に続く



*** 記念カバーとP切手 (その9) ***

JA3AER 荒川泰蔵

注：P切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。
また、国によっては Individual 切手とも呼ばれている。



1. マルコーニ博物館からの絵葉書と、マルコーニご夫妻日本訪問時の写真。

当誌 2018 年 6 月号(通算第 520 号)に掲載頂いた「マルコーニ切手」第 3 回の第 3 項でマルコーニ博物館を描いたイタリアの切手を紹介しましたが、去る 6 月 JR2APU 永山智士さんが、そのマルコーニの博物館を見学したと、イタリアからマルコーニの絵葉書を送ってくれましたので紹介します(写真 1)。残念ながら差し出し郵便局の消印が漏れていますが、2019 年 6 月 13 日に差し出され、6 月 28 日に届いたものです。

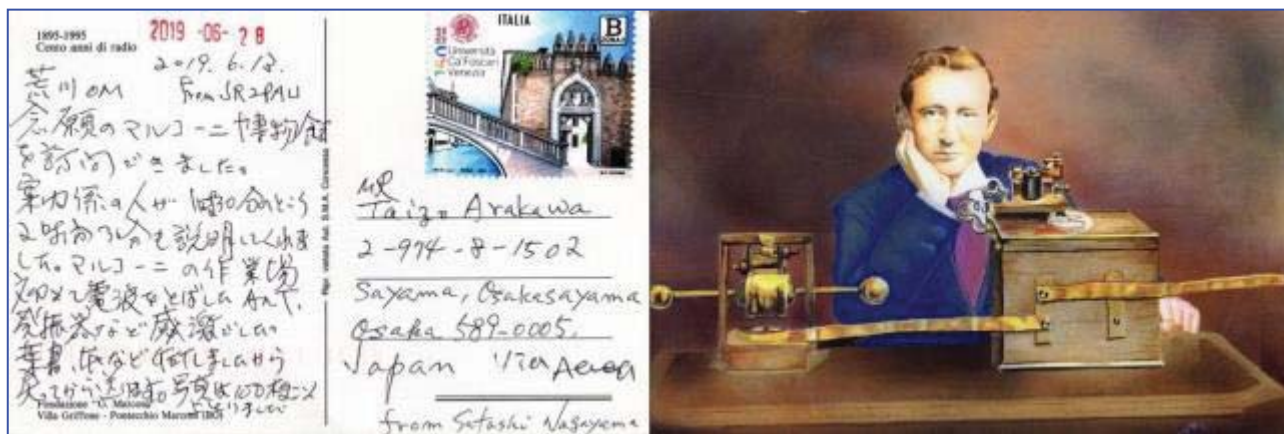


写真 1. JR2APU 永山智士さんが、マルコーニ博物館を見学したと、イタリアから送ってくれた絵葉書の裏表。

当誌 2018 年 10 月号(通算第 524 号)に掲載頂いた「マルコーニ切手」第 7 回の第 6 項でマルコーニご夫妻訪日時に京都で舞妓さんのお酌を受けているマーコーニを描いたソロモン諸島の切手を紹介しましたが、去る 7 月米国在住の JA4CFP 浅本茂生さんが、その時日本のハムがマルコーニに面会した写真があると、スキャンして画像を送ってくれましたので紹介します(写真 2)。写真の裏面には「To W6EGH de J3CX」とありますので、J3CX 河野正一さんが、米国の W6EGH, Wallie Gee さんに送った写真と思われます。またそこには「Mr, Mrs Marconi es J3CX Kyoto Hotel 1933」と、写真の説明が書かれていますので、写真の右から 2 番目が J3CX 河野正一さんでしょう。今から 86 年も前の貴重な写真です。



写真 2. (左) JA4CFP 浅本さんが送ってくれた、マルコーニご夫妻訪日時の写真。右から 2 番目が J3CX 河野正一さん。

(右) その写真の裏側に書かれたメモ。

2. ニジール：1983年に宇宙から世界で初めてアマチュア無線を運用した W5LFL, Owen Garriott さんの切手。

さて、話を「記念カバーとP切手」に戻して、今回は宇宙関係です。と言いながらこれはP切手ではありませんが、世界で初めて宇宙からアマチュア無線を運用したW5LFL, Owen Garriottさんの切手を紹介します。その切手はニジールで1999年に発行された4人の宇宙飛行士を描いた小型シートの中の1枚の切手です(写真3の左の右下の切手)。残念ながらGarriottさんは今年の4月に88歳で亡くなりましたが、ウィキペディアには1983年のSTS-9で、スペースシャトルによる10日間の宇宙飛行中に、W5LFLでアマチュア無線を運用した旨の記述とともに、その時の写真が掲載されています(写真3の右)。



写真3 (左) W5LFL, Owen Garriottさんを含む4人の宇宙飛行士を描いた、1999年ニジール発行の小型シート。

(右) 1983年にスペースシャトルから、世界初の宇宙からのアマチュア無線を運用した W5LFL, Owen Garriottさん(ウィキペディアより)。

3. 米国：1984年にNYで開かれた ARRL National Convention に参加した W5LFL, Owen Garriott さん。

切手ではありませんが、W5LFL, Garriottさんが、宇宙からアマチュア無線を運用した翌年の1984年7月に、ニューヨークのHotel Pentaで開催されたARRL National Conventionに招かれて参加され、初日の7月20日に講演をされた他、21日の晩餐会にも出席されました。筆者は幸運にも当時米国駐在中で、このConventionに参加する機会を得て、持っていたプログラムの表紙に、W5LFL, Owen Garriottさんのサインを頂く事が出来ました(写真4)。

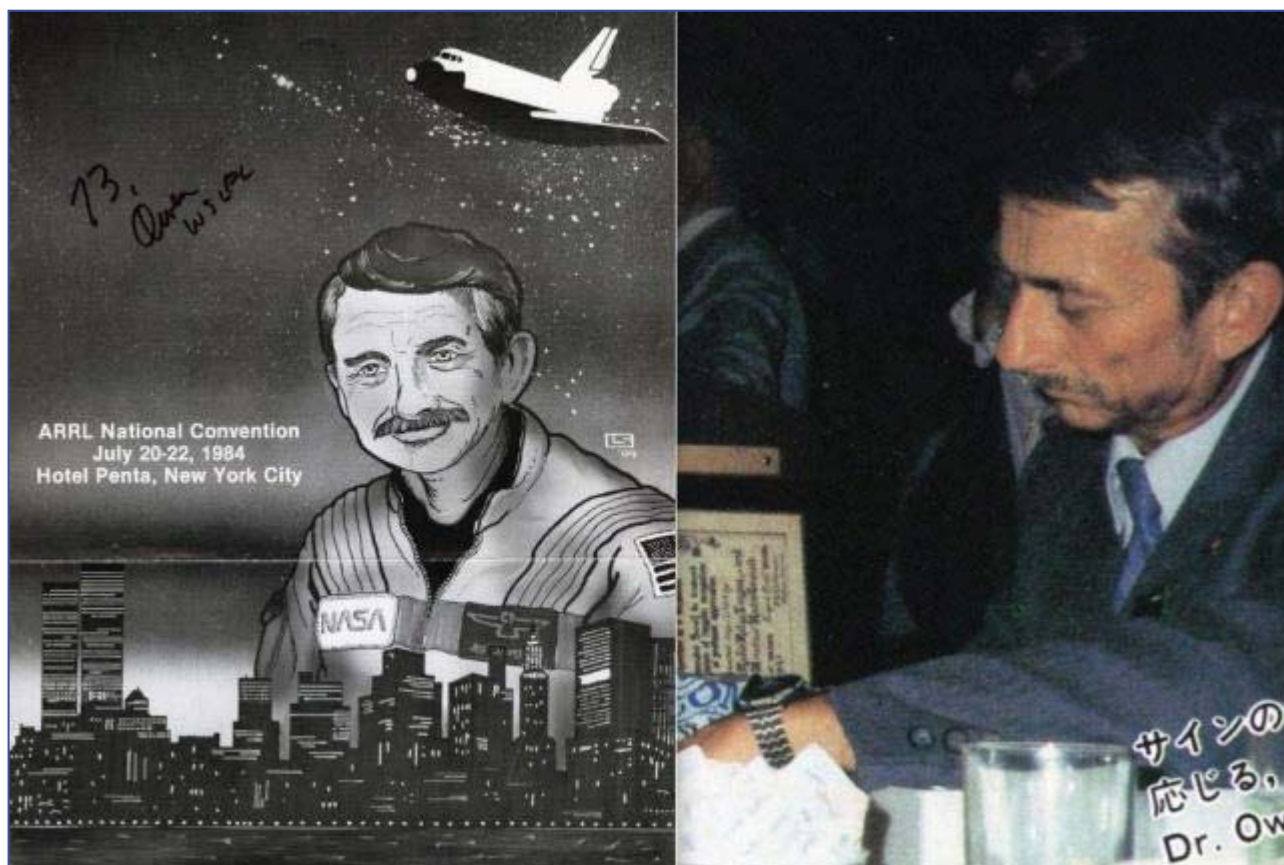


写真4 (左) W5LFL, Owen Garriottさんのサインを貰ったコンベンションのプログラムの表紙。(右) サインに応じる Garriottさん。

4. ウクライナ：日本人宇宙飛行士を描いた P 切手(2016 年 4 月 4 日発行)。

ウクライナは多数の宇宙飛行士のP切手を発行していますが、その中の日本人宇宙士のP切手を紹介します(写真5)。



写真 5 左から、KD5TVP 野口聡一、KE5DAS 山崎直子、KE5DAW 古川聡、KG5BPH 油井亀美也 各宇宙飛行士。

5. KE5DAW古川聡宇宙飛行士のP切手と、ARISSスクールコンタクトの特別局8J1SN/8J3NSのQSLカード。

KE5DAW古川聡宇宙飛行士は2010年の飛行中、3月4日には神奈川県茅ヶ崎市立浜須賀中学校の特別局8J1SNと、また3月9日には、兵庫県太子町立斑鳩小学校の特別局8J3NSと、ARISSスクールコンタクトでQSOしました(写真6)。

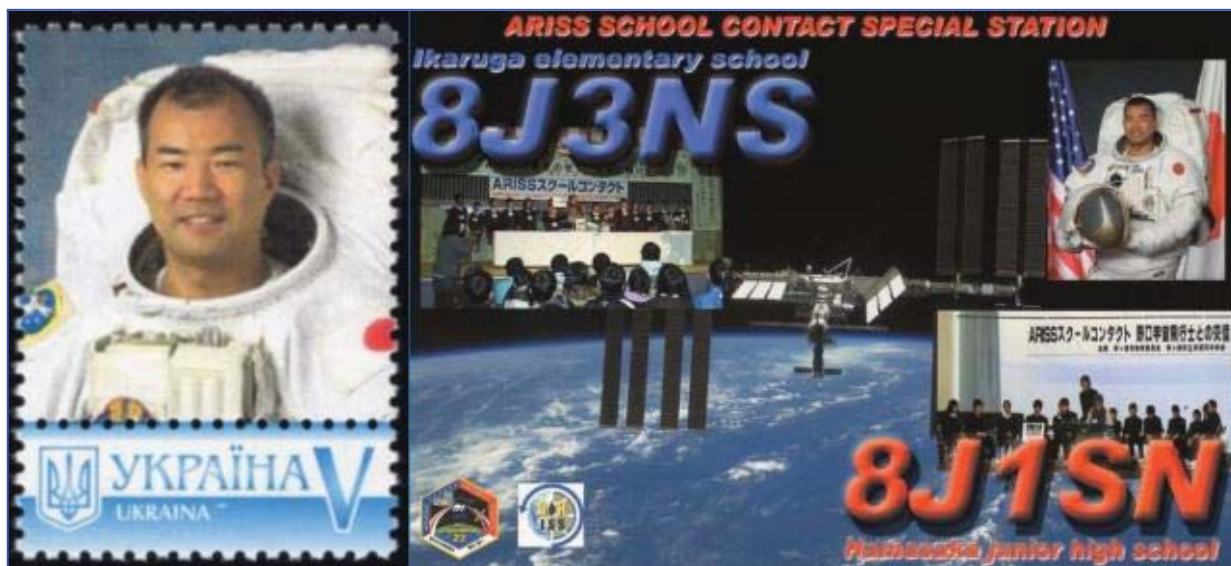


写真6 (左) KE5DAW 古川聡一宇宙飛行士のP切手。(右) 2010年にARISSで交信した8J1SN/8J3NSのQSLカード。

6. 日本：西堀榮三郎記念探検の殿堂ARISSスクールコンタクト記念カバー(2011年2月22日付湖東郵便局の風景印)。

2011年2月22日、滋賀県湖東市の西堀榮三郎記念探検の殿堂アマチュア無線倶楽部の特別局8N3NRが、ARISSでパオロ・ネスポリ宇宙飛行士(伊)とQSOしました。筆者はそれに立ち会う機会を得て、記念のカバーを作りました。(写真6)。



写真7 (左) 2011年2月22日、ARISSスクールコンタクトの記念カバー。(右) IZ0JPA パオロ・ネスポリ宇宙飛行士(伊)のP切手。

7. ARISS スクールコンタクトの特別局 8N3HO の QSL カードと、KG5BPH 油井亀美也宇宙飛行士の P 切手。

KG5BPH 油井宇宙飛行士は 2015 年 8 月 18 日に、大阪府豊中市の東丘小学校の特別局 8N3HO と、ARISS スクールコンタクトで QSO しました。これは日本では 81 例目のスクールコンタクトでした(写真 8)。



写真 8 (左) 2015 年 8 月 18 日、ARISS で交信した 8N3HO の QSL カード。(右) KG5BPH 油井亀美也宇宙飛行士。

8. 日本：関八ムでの、油井亀美也宇宙飛行士講演記念カバー(2017年7月15日付池田郵便局の風景印)。

その KG5BPH 油井宇宙飛行士が 2017 年 7 月 15 日、池田市で開催された関西アマチュア無線フェスティバル(関八ム)で講演をされました。筆者は幸運にも油井さんと会う機会を得て。記念のカバーにサインをして頂きました(写真 9)。



写真 9 (左) 油井亀美也宇宙飛行士のサインを貰った講演会記念カバー。(右) KG5BPH 油井亀美也宇宙飛行士と筆者。

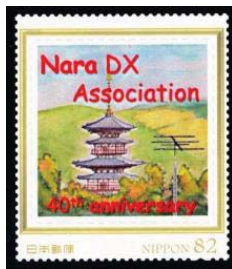
9. 日本：JARLのアマチュア衛星Fuji (JAS-1)打上記念カバー2種(1986年8月13日付南種子郵便の消印)。

1986 年 8 月 13 日、JARL のアマチュア衛星ふじ(Fuji, JAS-1)が、測地実験衛星あじさい(Ajisai)や、磁気軸受フライホイール実験装置じんたい(Jindai)と共に、種子島の宇宙センターから打ち上げられた時の記念カバーを紹介します(写真 10)。



写真 10 (左)アマチュア衛星 Fuji (JAS-1)打ち上げ記念カバー。(右)アマチュア衛星 Fuji (JAS-1)を含む衛星打ち上げ記念カバー。

次号に続く



＊ ＊ 記念カバーと P 切手 (その 10) 最終回 ＊ ＊

JA3AER 荒川泰蔵

注：P 切手とは Personal 切手の略で、日本では現在フレーム切手と呼ばれている。
また、国によっては Individual 切手とも呼ばれている。



1. 米国：デイトン・ハムベンション 2019 の記念カバー２種(2019 年 5 月 17 日付及び 18 日付消印)。

今年のデイトン・ハムベンションに参加された JA3KVT 銭谷さんから頂いたものです。当コラム(その 3)で 2012 年の 2 種のカバーを紹介させて頂きましたがそれ以来です。流石米国、記念に残るこのような記念カバーを毎年発行しているのですね。JARL もアマチュア無線 50 年記念切手を使って、ハムフェアの公式記念カバーを作って欲しいものです(写真 1)。



写真 1. デイトン・ハムベンション 2019 の、記念消印を押した記念カバー２種 (左) 17 日付、(右) 18 日付。

2. オランダ：マーケットリーフ DX ペディションを記念した絵葉書と記念カバー２種(2019 年 8 月 27 日付消印)。

当誌先々月号の当コラム(その 8)で紹介させて頂いた JH4RHF 田中純一さんが、依頼した記念カバー２種と共に、マーケットリーフから送ってくれたもので、絵葉書の裏には、なんと DX ペディションに参加したメンバーのサインがありました(写真 2 及び 3)。



写真 2. マーケットリーフが DXCC のカントリーとして認められた 50 年記念の P 切手を貼り、記念の DX ペディション(OJ00)に参加したメンバーのサインを入れて、マーケットリーフから JH4RHF 田中純一さんが送ってくれた記念の絵葉書(実通)の表と裏。



写真 3. (左)マーケットリーフ DXCC 承認 50 年記念の P 切手と、(右)マーケットリーフの景色を描いた P 切手を貼った記念実通カバー。

3. 日本 : JLRs 設立 60 周年記念 P 切手(2017 年)

JS3UDR 川名さんが JLRs のアワードが送られてきた封筒に珍しい切手が貼ってあったと、ミーティング時に持って来てくれたものです。消印は薄くて読み取り困難ですが、高知XX局、平成30年(2018年)5月8日付消印です。このP切手には「JLRs 設立 60 周年記念」と発行の目的と、記念局のコールサイン「8N60JLRs」が描かれています。当コラム(その4)で、JLRs 50 周年記念(2007 年)の P 切手を紹介しましたが、その P 切手が発行されてから 10 年後の P 切手です(写真4)。



写真 4. (左) JLRs 創立 60 周年記念の P 切手を貼った、JS3UDR 川名さん宛ての封筒。(右) JLRs 創立 60 周年記念 P 切手。

去る(2019 年)7 月 20 日に、池田市の池田市民文化会館(アゼリアホール)で開かれた、関西アマチュア無線フェスティバル(KANHAM2019)に出展していた JLRs のブースに立ち寄り、居合わせた 7K4TKB 牧さんに、この JLRs 設立 60 周年記念の P 切手について尋ねてみましたところ、少し残っているかも知れないとの事で、コレクションに是非とお願いしました。そして数日後、少し残っていたと封筒にもその P 切手を貼って送ってくれました。これで未使用 P 切手に加えて、P 切手を貼った実遞封筒も揃いました。消印は玉川局、令和 1 年(2019 年)7 月 25 日付でした。牧さん、どうも有難うございました(写真 5)。

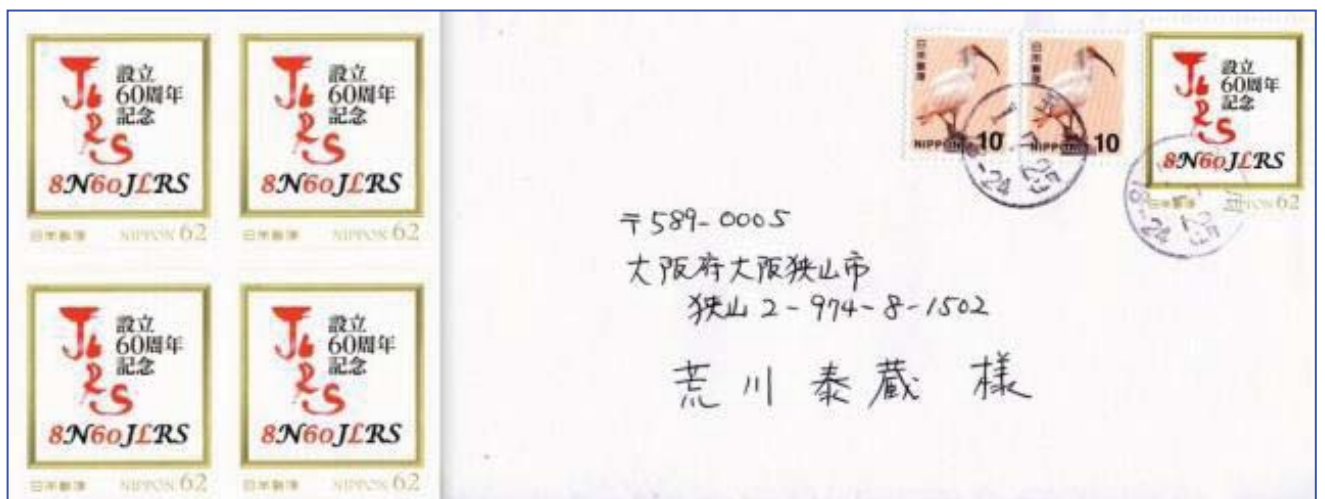


写真 5. (左) JLRs 設立 60 周年記念 P 切手 4 枚ブロック。(右) JLRs の 7K4TKB 牧さんが P 切手を送ってくれた封筒。

4. フィンランド : クラブ局 OH3NE のアンテナが見えるフィンランドの P 切手(2012 年)。

これはフィンランドの監視塔「Pyynikki watchtower」が描かれた P 切手だとして、そこにアマチュア無線のクラブ局 OH3NE のアンテナも見えると、OH2YV, Veikko さんが、その OH3NE の QSL カードのコピーと共に送ってくれたものです。「Pyynikki」とは地名なのか、人名なのかもわからないので、ウェブ調べて見ますと「プーニッキ公園と展望タワー(Pyynikki Park and Observation Tower)」として観光地になっていて、多くの日本人も訪れているようでした(写真 6)。



写真 6. (左) タワーの写真の P 切手、中央の奥にアンテナが見える。(右) OH3NE の古い QSL カードにはタワーが描かれている。

その後またOH2YV, Veikkoさんが、OH3NEの新しいQSLカードがあったと送ってくれましたが、QTHがTampereと書かれていて、プーニッキ(Pyynikki)はタンペレ(Tampere)の一部であることが分かりました。首都ヘルシンキの北方にあります(写真7)。

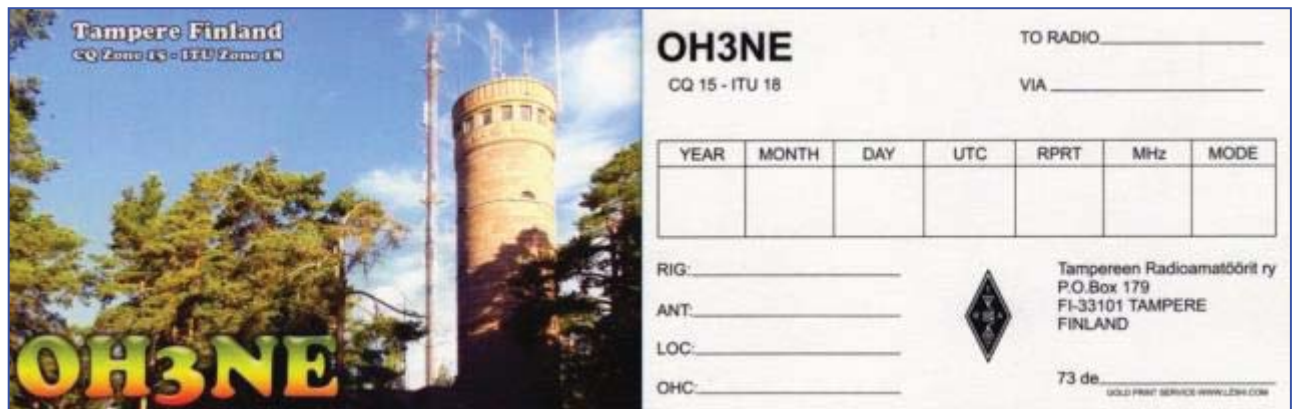


写真 7 OH2YV, Veikkoさんが送ってくれた、クラブ局OH3NEの新しいQSLカードの表と裏。

5. オーランド：マーケットリーフがDXCCに認められた50周年記念P切手(2019年)と、

インドネシア：ジョコ大統領(YD2JKW)とジュスフ副大統領(KC8HYK)のペアー切手(2015年8月17日発行)。

これらの切手もOH2YV, Veikkoさんが送ってくれたものです。前者は既に紹介済みですが、未使用切手は初めてです。後者のインドネシア切手はP切手ではありませんが、インドネシアのJoko Widodo大統領(YD2JKW)と、Jusuf Kalla副大統領(YC8HYK)を描いた切手です。私はアマチュア無線家の切手として、「準アマチュア無線の切手」に分類しています(写真8)。



写真8 (左) マーケットリーフDXCC認証50周年記念P切手。(右) インドネシアの大統領(右側)と副大統領(左側)のペアー切手。

以上、今回まで10回にわたりアマチュア無線に関係のある「記念カバーとP切手」を紹介させて頂きましたが、この種のものはこれ以外に沢山あると思いますし、これからも作られることと思います。 長期のご愛読有難うございました。(完)